
令和2年9月24日提出の資料から
39頁以降を画質調整(濃く)している

敦賀発電所2号炉
平成30年調査会社報告書のうち
申請書に反映した10孔の
申請書用柱状図の元データ

令和2年10月5日
日本原子力発電株式会社

余白

目次

掘削時期	孔名	頁
平成24年掘削	• H24-B8-21	5
	• H24-B8-22	13
報告書作成用柱状図 (平成26年9月～12月)	• H24-B11-1	21
	• H24-B11-2	27
	• H24-B14-2	33
平成27年掘削	• H27-B-1	39
	• H27-B-2	71
コア観察カード (平成27年8月)	• H27-B-3	107
	• H27-B-4	145
	• H27-D5-1	177

余白

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記号	記事	コア採取率 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 試験					室内試験 (孔内水圧基準)	掘進速度 (cm / 時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
															(N 値)	(深度)	(深度)	(深度)	(深度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	-11.47	26.51	砂礫	砂礫	灰白						26.51~37.67m: 砂礫 26.51~28.03m: 礫は径5~50mm. 最大径250mmの垂角~垂円礫で礫率50~80%. 半クサリ礫主体で31.80m以下では硬質礫が残留。31.80m以下ではほぼすべてが半クサリ礫。基質はシルトが混る不均質な砂。	0 (0)~100 (0)			0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
30	-19.36	37.67																																		砂礫	砂礫	灰白					30.90~31.80m: 堅硬・緻密な花崗斑岩巨礫	0 (0)~100 (0)				0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
																																																																40	砂礫	砂礫	明灰褐					34.35m: 灰色粘土挟在。厚さ7mm。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																															
																																																																																														50	砂礫	砂礫	明灰褐					35.40~35.79m: 径2~10mmの礫が主体。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																	
																																																																																																																											60	砂礫	砂礫	明灰褐					37.56~37.67m: 基質は粗粒砂~細礫	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																				
40	-19.36	37.67	花崗斑岩	花崗斑岩	浅黄	IVg	cg	γ	2	斑晶が少ない石英主体のアブライト質花崗斑岩。黒雲母の含有率は5%程度。	0 (0)~100 (0)				0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
																																50	花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	IVg	cg	δ	3	38.66~38.82m: 岩芯まで著しく軟質化。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																															
																																																															60	花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	IVg	cg	γ	2	38.82~39.42m: 傾斜50~60°の割れ目が2~5cm間隔で分布し。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																
																																																																																														70	花崗斑岩	花崗斑岩	灰白	IVg	cg	δ	3	39.42~39.83m: 硬質でハンマー打撃で鈍い金属音。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																	
																																																																																																																													80	花崗斑岩	花崗斑岩	灰白	IVg	cg	γ	2	39.85~42.20m: 割れ目密集部が多く、割れ目に白~黄白色の軟質物を挟在。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																		
																																																																																																																																																												90	花崗斑岩	花崗斑岩	灰白	IVg	cg	δ	3	41.79~42.09m: 上下位と比べて風化が進行し軟質。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																			
																																																																																																																																																																																											100	花崗斑岩	花崗斑岩	灰黄	IVg	cg	γ	2	47.70~48.50m: 傾斜60~70°の割れ目が10cm間隔で交錯。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																				
																																																																																																																																																																																																																										110	花崗斑岩	花崗斑岩	灰白	IVg	cg	δ	3	49.88m: 淡赤白色の砂混り粘土を挟在。傾斜50°, 幅2~3mm。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																					
																																																																																																																																																																																																																																																									120	花崗斑岩	花崗斑岩	灰白	IVg	cg	γ	2	49.88~50.47m: 傾斜30~40°の割れ目が1~2cm間隔で分布	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																						
																																																																																																																																																																																																																																																																																								130	花崗斑岩	花崗斑岩	明褐灰	IVg	cg	δ	3	51.86~52.26m: 白色に脱色し一部は軟質。脱色変質部。下端に褐色酸化部を伴う。傾斜48°, 幅5~13mm。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																							
																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						140	花崗斑岩	花崗斑岩	明褐灰	IVg	cg	γ	2	53.02~53.14m: 脱色変質し岩組織・割れ目は不明瞭。軟質化。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50									
160	花崗斑岩	花崗斑岩	明褐灰	IVg	cg	δ	3	55.14~56.64m: 概ね硬質。多くの割れ目にマンガンが付着。	0 (0)~100 (0)						0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
																															170	花崗斑岩	花崗斑岩	明褐灰	IVg	cg	γ	2	60.68~61.46m: 傾斜30°と60°の割れ目が0.5~3cm間隔で分布。割れ目交錯部分で脆弱化。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																
																																																												180	花崗斑岩	花崗斑岩	明褐灰	IVg	cg	δ	3	61.66~62.06m: 傾斜約45°の割れ目が0.5~1cm間隔で発達。これらに70°の割れ目が交錯し岩は脆弱化。	0 (0)~100 (0)					0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																			

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値 ~ 深度) 試験		原位置試験 (孔内水圧装置)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																							
													(N) 値	(深度) 図																																		
70	44.76	73.60	花崗斑岩	明褐灰	Bg	IVg	cg	γ	2	62.33~63.77m: 傾斜30°と60°の割れ目が発達し交差部は砂状~角礫状化。	CL'	7/29	120							ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット	150	0.3	泥水 9	4																								
70																									Bg	IVg	cg	γ	2	65.04~65.89m: 傾斜10~20°の割れ目または傾斜60~80°の割れ目が集中する部分は角礫状化。	CL'	7/30	100									150	0.4	泥水 8	3			
																																														70		
				70			Bg	IVg	cg	γ	2	68.03~68.28m: 割れ目が0.5~1.5cm間隔で網目状に発達。	CL'	7/30	130							180	0.5	泥水 8																								
70																									Bg	IVg	cg	γ	2	70.46~70.53m: 角礫状を呈する。上端80°, 下端50°。固結する。	CL'	7/30	95								150	0.2	泥水 9	0				
																																													70			Bg
				70			Bg	IVg	cg	γ	2	72.43~72.94m: シルト混り砂礫状を呈する。	CL'	8/1	100								120	0.2																								
70																									Bg	IVg	cg	γ	2	73.60~160.40m: アブライト (Ap) 上端, 下端とも花崗斑岩との境界は漸移的。	D'	8/5	115								150	0.3	泥水 10	0				
																																													70			Bg
				70			Bg	IVg	cg	γ	2	76.01~77.36m: 傾斜50~60°の割れ目が5~10cm間隔で発達。一部で土砂化~細粒化。	CL'	8/5	115								150	0.2																								
70																									Bg	IVg	cg	γ	2	77.36~77.88m: 傾斜40°と70°の割れ目が5~10cm間隔で交錯。コアは片状で硬質。	CL'	8/5	115								150	0.2	泥水 10	0				
																																													70			Bg
				70			Bg	IVg	cg	γ	2	●79.86~80.17m: 破砕帯 ▲79.86m: 砂混りシルト状破砕部 (Hc-2)。 上端53°でシャープ, 下端は凸凹し不明瞭。幅8~10mm, 淡赤白色。 ▲79.86~80.17m: 粘土質砂礫状破砕部 (Hj)。 80.17~80.50m: 微細な割れ目が密集。コアは主に細片状。 80.76m: 割れ目が多く, シルト混り砂礫状, 傾斜30°, 幅0mm。 81.03~82.37m: 割れ目間隔が広く, 50~100mmの柱状コアが主。	CL'	8/5	115									150																								
70																									Bg	IVg	cg	γ	2	82.37~83.90m: 傾斜30~50°及び20°以下の割れ目が1~2cm間隔で発達。コアは片状が主。	CL'	8/5	115									150	0.2	泥水 10				
																																													70			Bg
			70			Bg	IVg	cg	γ	2	●88.67~88.71m: 破砕帯 ▲88.67~88.71m: 砂混りシルト状破砕部 (Hb)。幅40~50mm, 黄白色。上端45°, 下端38°。 ▲88.71m: 褐色粘土 (Hc-1)。幅1~3mm, 38°, 固結。	CL'	8/5	115									150	0.2																								
70																									Bg	IVg	cg	γ	2	88.96~89.34m: シルト混り砂礫状コアで, 上端45~50°, 下端30°の割れ目で壊される。	CL'	8/6	120									150	0.3	泥水 10				
																																													70			Bg
			70			Bg	IVg	cg	γ	2	95.56~95.87m: 風化により, 粘土質角礫状コアを呈する。	CL'	8/7	115									150	0.2																								
70																									Bg	IVg	cg	γ	2	95.87~96.60m: 岩片は硬質。	CL'	8/7	115									150	0.2	泥水 10				
																																													70			Bg

余白

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値) 試験		原位置試験 (孔内水圧基準)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)							
													(N値)	(深度)																		
	-41.15	62.75		粘土・シルト混り砂	にぶい黄橙				62.75~63.17m: 砂礫礫は径10~30mmの花崗斑岩風化礫が主。礫率20~30%。基質は粘土混り中粒砂。	0			0																			
	-41.45	63.17							63.17~63.86m: シルト混り砂細~中粒砂が主でシルトが混入。	10			10																			
	-41.94	63.86							63.86~188.09m: 花崗斑岩 (Gp) 63.86~63.90m: 強風化・変質部である。岩芯まで酸化汚染が進み、土砂状を呈する。63.90~64.02m: 変質が進み、岩芯まで劣化。	11			11																			
70				灰白					64.02~71.40m: 割れ目間隔1~5cm、傾斜70°の高角度平行割れ目と、割れ目間隔1~4cm、傾斜20~30°の低角度平行割れ目が交錯。概ね前者が卓越。割れ目に沿って黄褐色汚染及び斑状汚染が認められる。	9			9																			
									65.62~65.89m: 割れ目に沿って細粒化が進み軟質。	10			10																			
									70.00~70.45m: 傾斜45~60°の割れ目に沿って熱水変質がみられる。70.45~75.38m: 割れ目間隔は1~5cmで、微細な割れ目が分布。	11			11																			
									74.16m: 傾斜65°の割れ目に沿って細粒化。割れ目は酸化汚染により褐色化。一部でマンガンが付着。	10			10																			
									75.38~75.40m: 固結した粘土混り角礫状。上端60°、下端75°程度。幅20~25mm。	10			10																			
									76.87~79.37m: 高角度の割れ目が発達。低角度の割れ目との交差部分で岩片状~角礫状化。	11			11																			
									79.92~81.66m: 上下位に比べて割れ目は少なく岩自体も硬質。割れ目間隔は0.5~5cmで、岩片状~短柱状コアが主。	10			10																			
									81.37m: 傾斜70°の割れ目周辺に幅15mmの淡緑灰色鉱物が晶出。幅3mm程度の褐色のシルト質粘土を伴う。	10			10																			
									82.76~84.04m: 傾斜60°程度の割れ目と、これに交錯する微細な割れ目が発達し一部礫状化。全体に風化・変質も進みコアは軟質。幅3~9mmの石英脈が傾斜約70°で連続。	10			10																			
	80										明赤灰					84.92~86.05m: 岩芯は概ね新鮮であるが、割れ目は褐色化。	10			10												
			86.05~86.22m: 上下位に比べて軟化。	10			10																									
			86.82~89.48m: 岩芯は新鮮で硬質。87.61m: 傾斜70°の割れ目周縁20mmにわたり淡青灰色の鉱物が晶出。割れ目には褐色の細粒物質が薄く付着。	11			11																									
			89.48~90.30m: 岩芯は新鮮。割れ目は褐色化し黒褐色のマンガンが付着。	10			10																									
			91.45~91.62m: 変質で暗青灰色化。91.55m: 褐色粘土を挟在。幅2~3mm。軟質。	10			10																									
			93.40~93.90m: 傾斜30~60°の割れ目が斜交し、割れ目沿いに細片~細粒化。	10			10																									
			94.87m: 砂混り粘土挟在。傾斜70°程度。幅9mm。灰白色で軟質。	10			10																									
			96.20~96.70m: 傾斜10°前後の低角度割れ目が1~3cm間隔で分布。微細な割れ目が多く分布し岩質もやや軟質。	10			10																									
90					灰白												10			10												
																	10			10												

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化質	変質	記 事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 図		試験 (N 値)	原位置試験 (孔内水位基準)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)		
														(N 値)	(深度)														
100			花崗斑岩	灰黄	Cg	IVg	γ			96.85~100.00m: 硬質。	CL'								75		40.0								
				灰白	Dg		δ			99.70m: 傾斜70° 割れ目に交差する割れ目が発達し、コアは岩片状。									8/7	70									
				明褐灰	IIIg		γ			100.00~100.26m: 上下位に比べ軟質。割れ目頻度も多い。										70									
				にぶい黄橙						100.86~101.03m: 傾斜70° の割れ目沿いの変質で暗青灰色化。幅7cm程度。灰白粘土を伴う。										80									
				灰白	Cg	IVg				102.79~103.46m: 傾斜45° の割れ目沿いの変質で暗青灰色化。割れ目幅は3~4mmで銀白色の鉱物が晶出。										75									
				灰黄	IIIg		2			105.17m: 傾斜70° の割れ目に層状に「か」が分布。幅1cm。										8/8	75								
				灰白	Dg	IVg	γ			107.00~108.42m: 割れ目間隔は1~5cmが主で部分的に密集。										65									
				にぶい黄橙						108.58~110.94m: 割れ目に沿って風化が進む。										60									
				明灰橙	IIIg					109.11m: 砂混り粘土状。傾斜65° 程度。幅5mm。淡黄白色。										75									
				にぶい黄橙	Cg	IVg				109.74~109.82m: 傾斜75° の割れ目周縁に、変質で幅4cm程度の暗青灰色鉱物が晶出。										60									
				明灰橙	IIIg					110.94~112.70m: 硬質。ハンマーの打撃で金属音。										75									
				にぶい黄橙	Cg	IVg				112.70~113.60m: 割れ目が多い。割れ目周辺にマンガンが濃集。										65									
				明褐灰	Eg	VIg	dg	ε	4	●114.71~115.13m: 破砕帯										8/9	75								
				にぶい黄橙	Dg	Vg		δ	3	▲114.71~115.13m: 粘土混り砂礫状破砕部 (Hb)。固結。上下端60° 程度。礫は軟質。										65									
				灰黄	Cg		cg			115.13~115.46m: 角礫状。岩組織は残存し下端境界60° でシャープ。										75									
				にぶい黄橙	Cg	IVg				115.61m, 115.73m: 割れ目沿いに細片化。傾斜60°, 幅2~5mmで連続。										60									
				にぶい黄橙	Bg		bg			117.27~117.29m: 変質で暗青灰色化。傾斜60° 程度。幅20mm。										75									
				灰黄	Bg	IIIg	bg			118.41~118.57m: 変質で暗青灰色化。傾斜60° 程度。幅120mm。中央付近に傾斜60°, 厚さ12mmの灰白色砂混り粘土を挟在。										65									
				にぶい黄橙	Cg		cg			120.88~122.28m: 新鮮・硬質。										70									
				明褐灰	IVg					122.58~123.19m: 割れ目が発達し、割れ目沿いに細片化。										8/10	70								
			にぶい黄橙	Vg					123.19~124.48m: 傾斜60° 割れ目が多い。										60										
			灰黄橙	IVg					124.48~125.13m: 一部で角礫状~細粒化。										70										
			にぶい黄橙	Vg					125.93~125.96m: 割れ目沿い幅2cmで細片化~細粒化。										8/11	70									
			灰白	IIIg					127.71~129.51m: 割れ目間隔は概ね5~10cmと広い。										65										
			にぶい橙	IVg					129.51~129.90m: 割れ目が密集。傾斜70° の割れ目为主。										70										
			灰黄橙	Cg					130.50~130.64m: 低角度の割れ目が密集し、割れ目沿いに細片化~細粒化。										65										
			にぶい黄橙	Vg					131.14~132.03m: 傾斜70° 以上の高角度割れ目と5~10° の低角度割れ目が斜交。割れ目沿いに細片化。										70										
			灰黄橙	IVg					133.12~133.17m: 割れ目沿いの岩盤劣化部。傾斜70°, 幅20mm。割れ目沿いに細片化し、岩片は割れ目と同方向に配列。										65										

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記号	事	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	標準貫入 (N値 ~ 深度) 試験		原位置試験 (孔内水圧計)	室内試験	掘進速度 (cm / 時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)				
															(N) 値	(深度) 値															
				花崗斑岩	灰黄褐	IVg					171.00~171.07m: 割れ目密集部。	0	CL'		0				8/26												
				花崗斑岩	灰黄褐	Vg					171.22~173.00m: 傾斜0~60°の割れ目が不規則に分布。角礫状化。	10	CL'		10																
				花崗斑岩	灰黄褐	IVg	cg	γ	2		173.37~174.08m: 20°前後の低角度割れ目が主。割れ目沿いに細片化シマンガンが付着。下端付近は変質で暗青灰色化。	20	CL'		20																
				花崗斑岩	にふい橙	IVg					174.21~174.25m: 微細な割れ目が密集。	30	CL'		30																
				花崗斑岩	にふい橙	Vg					176.01~176.68m: 割れ目はやや少ない。	40	CL'		40																
				花崗斑岩	灰白	VIg	dg	δ	4		●176.68~177.31m: 破砕帯(D-6) 上端60°, 下端35°。 ▲176.68~176.71m: 角礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。黒褐色。幅15mm。 ▲176.71~176.81m: 角礫混り砂状破砕部(Hb)。 ▲176.81~177.30m: 砂混り角礫状破砕部(Hj)。 ▲177.30~177.31m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅8~10mm。リ-ア 灰色。	50	D'		50																
				花崗斑岩	赤灰	IVg					177.31~177.52m: 角礫状。固結した砂礫様。一部で粘土分に富む。	60	CM'		60																
				花崗斑岩	灰褐	Vg					178.27~179.77m: 割れ目間隔は2~8cmで硬質。	70	CM'		70																
				花崗斑岩	灰黄褐	IVg	cg				180.37~180.64m: 変質で長石類が緑色化。	80	CL'		80																
				花崗斑岩	にふい橙	Dg	Vg	δ			182.64~182.72m: ベグマタイト脈。傾斜60°, 幅50mm。	90	CL'		90																
				花崗斑岩	灰赤	IVg	Vg				182.98~183.86m: 傾斜10~20°と50~90°の微細な割れ目が概ね12cm間隔で分布。	100	CM'		100																
				花崗斑岩	にふい橙	IVg	Vg				184.03~184.56m: 40~60°の割れ目が発達。同傾斜の微細な割れ目が概ね1~3cm間隔で分布。	110	CM'		110																
				花崗斑岩	赤灰	IIIg	bg	γ			185.25~186.12m: 割れ目は少なく割れ目沿いに弱く風化するが硬質。	120	CH'		120																
				花崗斑岩	灰褐	IVg	Vg	δ	2		186.55~186.63m: 角礫岩様で軟質。	130	CL'		130																
				花崗斑岩	にふい橙	IVg	Vg				187.60~188.09m: 割れ目が多い。割れ目沿いに細片化。	140	CL'		140																
				花崗斑岩	ベグマタイト	Vg					188.09~188.92m: ベグマタイト(Pg) 斑晶は5~10mmの石英、長石とカリ長石を主とする。	150	CL'		150																
				花崗斑岩	赤灰	IVg					188.92~240.00m: 花崗斑岩(Gp) 境界は50°割れ目でベグマタイト側は細片化するが、花崗斑岩は硬質で割れ目が少ない。	160	CM'		160																
				花崗斑岩	灰褐	IVg	Vg	γ			189.52~192.59m: 割れ目間隔が概ね10cm~30cm以上と良好な岩盤も含む。	170	CL'		170																
				花崗斑岩	灰	IIIg	bg				192.87~193.10m: 変質で淡黄白色の細粒物質を伴い軟質。	180	CM'		180																
				花崗斑岩	にふい橙	Dg	Vg	δ	3		193.56~194.26m: 割れ目間隔は概ね10cm以上で風化・変質は軽微。	190	CL'		190																
				花崗斑岩	灰	IVg	Vg	cg	2		194.26m: 傾斜55°, 幅5mm。暗緑色の変質粘土脈。軟質。	200	CM'		200																
				花崗斑岩	明灰褐	Dg	Vg	δ	3		195.56~197.16m: コアは新鮮で硬質。微細な割れ目はほぼ密着。	210	CL'		210																
				花崗斑岩	灰	IIIg	bg				196.84m: 幅20mm。変質粘土脈。黄鉄鉱を伴う。	220	CM'		220																
				花崗斑岩	灰褐	IVg	Vg				197.16~198.54m: 全体に赤色を帯びる。	230	CL'		230																
				花崗斑岩	褐灰	IVg	Vg				198.67~200.10m: 概ね新鮮であるが、割れ目沿いに細片化。	240	CL'		240																
				花崗斑岩	黄灰	IIIg	bg	β	2		200.51~200.55m: 傾斜60°, 淡緑色の変質粘土脈。脱色し軟質。	250	CL'		250																
				花崗斑岩	黄灰	IIIg	bg				200.10~225.94m: 割れ目間隔は10cm以上を多く含む良好な岩盤が広く分布。	260	CL'		260																
				花崗斑岩	灰	IVg	Vg	cg			202.97m: 傾斜55°の割れ目に砂質シルト状の変質鉱物が挟在し、黄鉄鉱を伴う。幅1mm。暗緑色。	270	CM'		270																
				花崗斑岩	灰	IVg	Vg	cg			203.78~204.12m: 割れ目が多い。	280	CL'		280																
				花崗斑岩	灰	IIIg	bg				205.40~206.33m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化。細粒化。	290	CL'		290																

余白

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

1

事業・工事名

ボーリング名	B11-1		調査位置				北緯			
発注機関				調査期間				東経		
調査業者名			主任技師			現代場人			ボーリング責任者	
孔口標高	7.10 m	角			地盤勾配			使用機種		
総掘削長	150.00 m	度			試験機			ハンマー落下用具		
					エンジン			ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験 (N値~深度)		原位置試験 (孔内水平貫巻)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
													N	値									
			埋土	灰黄					0.00~7.95m: 埋土(bk層)														
			埋土	灰黄					0.00~1.50m: 細礫を含む不均質な砂からなる。														
			埋土	灰黄					1.50~3.98m: 礫・シルト混り砂細~粗粒砂からなる。全体に礫およびシルトが混る。部分的に礫の混入率が20~30%となる。礫は径5~40mm, 最大径110mmの花崗斑岩の角礫を主体とする。														
			埋土	灰黄					3.98~4.43m: 礫密集部。														
			埋土	明黄					4.43~5.51m: 礫混り砂														
			埋土	灰黄					上下位に比べて礫径・礫率ともに小さい。														
			埋土	灰黄					5.51~7.85m: 礫質砂														
			埋土	灰黄					上位に比べ、礫径・礫率ともに大きくなる。礫は硬質花崗斑岩。														
			埋土	灰黄					7.85~7.95m: 礫混り砂粗粒砂主体。風化で褐色化する。														
			埋土	灰黄					7.95~18.28m: 有機質土主体(Bp層)														
			埋土	灰黄					7.95~8.66m: 礫・砂混り有機質シルト														
			埋土	暗灰					8.03m付近は細粒分に富み全体不均質。上端側8cmはシルト質細粒砂。														
			埋土	暗灰					8.66~8.95m: 礫混り砂粗粒砂が主。有機質分は上位に比べ少ない。														
			埋土	暗灰					8.95~9.65m: スライム														
			埋土	暗灰					9.65~10.03m: 有機質土														
			埋土	暗灰					10.03~11.37m: 礫混り砂粗粒砂が主で径2~5mm石英礫を含む。木片や有機質土を含む。上端側の10.03~は10.17mは礫混り有機質粗粒砂。														
			埋土	黒褐					11.37~12.20m: 礫混り有機質砂														
			埋土	黒褐					11.64m以浅は細粒砂で上下端境界は水平。11.64m以深は粗粒砂が主で幅1~4cmの有機物を帯状に含む。														
			埋土	黒褐					12.20~13.60m: 有機質土粗粒砂や細礫を含み不均質。														
			埋土	黒褐					12.65~12.85mに植物繊維を含む。														
			埋土	黒褐					13.60~16.53m: 有機質混り砂砂は細~粗粒砂で不均質。炭化物や未分解木片などを含む。														
			埋土	黒褐					また、処々に20mm以下の礫を含む。														
			埋土	黒褐					14.51~15.00m: 未分解木片の塊り														
			埋土	黒褐					16.48m, 16.51m: 炭化物が一定方向に配列。														
			埋土	黒褐					16.53~17.90m: 有機質土														
			埋土	黒褐					分解の強弱で縮状模様を呈する。														
			埋土	黒褐					7.35~17.69mに極細粒砂を挟む。														
			埋土	黒褐					17.90~18.05m: 礫混りシルト質砂														
			埋土	黒褐					18.05~18.28m: 有機質シルト														
			埋土	灰褐					18.28~23.15m: 礫混り砂(Bs層)														
			埋土	灰褐					細~粗粒砂の不均質な砂で、径2~20mmの細礫が混る。礫は石英が主。														
			埋土	灰褐					わずかに花崗斑岩の垂角礫も分布。上端の18.28~18.67mは礫混り砂で中粒砂が主。														
			埋土	灰黄					20.60~20.88m: 酸化汚染を受け、斑状に褐色化。														
			埋土	灰黄					22.50~23.15m: 軽微だが酸化汚染を受け、コアは淡褐色を帯びる。														
			埋土	明褐					23.15~25.78m: 礫質砂主体(GaII層)														
			埋土	明褐					23.15~25.00m: 礫質砂														
			埋土	明褐					径2~5mmの細礫と24.50m付近の20~50mm礫。基質はシルトを含む細~粗粒砂で不均質。礫率約30%。														
			埋土	砂礫					25.00~25.78m: 砂礫														
			埋土	砂礫					径40~100cmのアブライト、花崗斑岩の垂角~垂円礫で礫率50~60%。基質は細~粗粒砂で不均質。25.45m以深は有機質分を含む。														

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					室内試験 (孔内水位差)	掘進 掘進速度 (cm/時)	掘進 掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																									
															N	10	20	30	40											50																																								
60	34.92	59.43	[柱状図]	アブライト ベグマタイト	淡赤橙	Bg	IIIg	bg	γ	2	59.43~59.76m: ベグマタイト (Pg) 石英・カリ長石の巨晶に富む。	0	CH'	7/27	0	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0	0																																																
	35.16	59.76													102								ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																										
															38														ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																				
															48																				ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																														
															78																										ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																								
															78																																ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																		
															128																																						ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0												
															128																																												ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0						
															69																																																		ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0
															69																																																							
		71	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																														
		71							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																								
		30													ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																		
		30																			ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																												
		340																									ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																						
		340																															ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																
		55																																					ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																										
		55																																											ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																				
		65																																																	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0														
		65																																																							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0								
		86	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																														
		86							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																								
		75													ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																		
		75																			ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																												
		80																									ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																						
		80																															ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																
		76																																					ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																										
		76																																											ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																				
		79																																																	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0														
		79																																																							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0								
		84	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																														
		84							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																								
		97													ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																																		
		97																			ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	74	0.1	0																																												
70																											[柱状図]	アブライト	明褐灰	Bg	IIIg	cg																															γ	67.29~67.33m: 割れ目密集部で砂状化。傾斜25°。 67.48m: 割れ目沿いに細片化。	0	CH'	7/30	0	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水
																																	69	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1																														0		
																																	71						ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																										
																																	71												ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																				
																																	30																		ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0														
																																	30																								ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0								
			340	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1																									0																																					
			340						ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																																								
			55												ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																																		
			55																		ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																												
		65	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット																								86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																							
		65																														ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット		86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																
		86																																					ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																										
		86																																											ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																				
		75																																																	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0														
		75																																																							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0								
		80		ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1																									0																																					
		80							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																																								
		76													ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																																		
		76																			ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																												
		79	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット																								86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																							
		79																														ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット		86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																																
		84																																					ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																										
		84																																											ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0																				
		97																																																	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0														
		97																																																							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	69	0.1	0								
80				[柱状図]	アブライト	明褐灰	Bg	IIIg																									cg																														γ	67.48~69.98m: 割れ目少なく硬質。 68.51m, 68.71m: 割れ目に沿いに細片化。 69.22m: 割れ目沿いに細片化し、割れ目に幅4~8mm灰白色粘土が充填。 69.98~70.19m: 微細な割れ目が分布し、風化で褐色化。 70.19~71.24m: 硬質、割れ目沿いと岩芯は風化で褐色化。 71.69~72.72m: 割れ目沿いの風化で上下位により軟質化。	0	CH'	7/31	0	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水
									340	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1																																																						0		
									55						ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																																		
									55												ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																												
			65						ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット																		86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																							
			65																													ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット		86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																
			86																																				ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																										
			86																																										ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																				
			75																																																ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0														
			75																																																						ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0								
		80	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																																														
		80								ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1																			0																																					
		76													ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																																		
		76																			ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																												
		79							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット																		86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																							
		79																														ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット		86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																
		84																																					ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																										
		84																																											ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																				
		97																																																	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0														
		97																																																							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0								
90			[柱状図]	アブライト	明褐灰	Bg	IIIg	cg																																																							γ	80.74~83.23m: 割れ目間隔は5~40cmと割れ目少なく、非常に硬質。 83.32m: 割れ目に沿って幅5mmの褐色軟質物を伴う。 83.53~83.69m: 割れ目沿い細片化。 83.85m: 石英脈。傾斜45°、幅5mm。 85.17~85.23m: 割れ目沿いに細片~細粒化。上端側に幅2~3mmの灰白色粘土を挟む。 85.97~86.21m: 一部で割れ目沿いに細片~細粒化。 87.52~88.93m: 角礫状。88.66m: 灰白粘土挟在。傾斜60°、幅3mm。 ●88.93~88.97m: 破砕帯 (D-5) ▲88.93~88.97m: 角礫混り粘土状破砕部 (Hb)。上下端55°程度、幅35~40mm。礫は径1~3mmの石英細礫。	0	CH'	8/1	0	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水
										340	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340																			0.1																																			0		
										55					ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																																		
										55											ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																												
									65	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット																	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																							
									65																							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット		86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																
									86																														ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																										
									86																																				ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																				
									75																																										ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0														
									75																																																ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0								
		80	ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																																														
		80							ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット		86ノ泥水	20.0	340	0.1																			0																																					
		76													ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																																		
		76																			ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																												
		79								ダブルコナチューブ / ダイアモンドビット																	86ノ泥水	20.0	340	0.1	0																																							
		79																														ダブルコナチューブ / ダイアモンド																																						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩級区分	標準貫入 (試験) 図		室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
												(N 値)	(深度)											
130	81.37	125.11	花崗斑岩	灰黄褐 Cg Bg Bg	IVg IVg IVg	2	125.11~150.00m: 花崗斑岩 (Gp) 125.11~125.50m: 割れ目、岩芯とも新鮮な硬質岩盤。 126.09~126.29m: 変質で脱色し、長石類は白濁化。微細な割れ目が発達し軟質。 127.22~127.81m: 割れ目沿いにわずかに劣化。岩芯は概ね新鮮。	CM'	34 [37] (100)	61	8/25	61												
				灰白 Cg	IVg			CL'	15 [29] (100)	62														
				灰白 Dg	IVg		128.18~128.68m: 岩盤が劣化し軟質。	CL'	10 [10] (100)	62														
				褐灰 Cg	IVg		129.26~129.80m: 岩盤の劣化は軽微。変質を受けるが硬質。	CM'	13 [34] (100)	77														
				にぶい黄橙 Dg	IVg		130.37~130.47m: 岩盤が劣化し割れ目が密集。割れ目沿いに細片化。	CM'	19 [41] (100)	50														
				灰褐 IVg	IVg		131.04~131.90m: 傾斜40~60°の割れ目が分布。	CL'	10 [13] (100)	63														
				にぶい黄橙 Bg	IVg		132.64~132.75m: 割れ目が密集し割れ目沿いに細片化、細粒化。	CL'	28 [58] (100)	8/28														
				灰黄 IVg	IVg		133.26~133.97m: 変質で岩盤劣化し、割れ目が多い。 133.83m: マンガンが挟在。傾斜65°、厚さ2~10mm。上端に幅1mmの褐色細粒物質脈を伴う。	CM'	18 [34] (100)	49														
				灰褐 Cg	IVg		134.93~135.46m: 割れ目が多い、一部で密集。割れ目及びその周縁は褐色化。岩芯は概ね新鮮。	CL'	10 [10] (100)	81														
				褐灰 IVg	IVg		135.61~136.00m: 傾斜60°程度の割れ目が斜交し、割れ目沿いは細片化。	CM'	26 [34] (100)	8/29														
				灰黄褐 Bg	IVg		137.68~139.20m: 傾斜45~60°の割れ目が間隔1~10cmで、微細な割れ目も同傾斜で分布。割れ目沿いは細片化。	CL'	30 [56] (100)	46														
				明褐灰 Cg	IVg		139.68~139.80m: 岩盤が劣化し赤色を帯びる。割れ目沿い細粒化。	CM'	24 [53] (100)	28														
				にぶい黄橙 Bg	IVg		140.76~140.96m: 傾斜20°と80°の割れ目が斜交し、径10~30mm程度に細片化。	CL'	34 [55] (100)	62														
				褐灰 Bg	IVg		141.35~143.15m: 一部で割れ目沿い風化、褐色化するが、割れ目少なく硬質。	CM'	14 [14] (100)	44														
				褐灰 Cg	IVg		143.67~143.77m: 傾斜40~60°、幅7cmで径10mm以下の岩片と白色~褐色粘土からなる。	CL'	34 [55] (100)	8/31														
				にぶい黄橙 Dg	IVg		144.06~144.45m: 変質で劣化。すべての割れ目に淡赤白色シルトが主の細粒物質が挟在。	CM'	15 [30] (100)	65														
				褐灰 IVg	IVg		145.35~146.11m: 傾斜45°程度の割れ目が多い。割れ目沿いに褐色の細粒物質が付着、挟在。	CM'	26 [57] (100)	9/1														
				褐灰 Cg	IVg		147.97~148.40m: 傾斜60°割れ目に褐色の細粒物質が挟在。	CL'	2 [39] (100)	50														
				褐灰 Bg	IVg		149.38~149.46m: 割れ目が多く割れ目沿いに細片化しマンガン汚染を受ける。	CL'	38 [63] (100)	9/3														

余白

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

1

事業・工事名

ボーリング名	B11-2		調査位置				北緯			
発注機関				調査期間				東経		
調査業者名			主任技師			現代場人	コ鑑定者			
孔口標高	3.14 m	角	180°上 90° 45.0°		方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		地盤勾配	鉛直 0.0°	
総掘削長	150.00 m	度			使用機種	ハンマー落下用具				
					試験機	エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩色	硬軟	割れ目の形状	風変質	記	コア採取率 最大コア長 R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値) 試験		原位置試験 (孔内水深範囲)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
												(N値) 試験	(N値) 試験												
			埋土	にぶい黄褐色				0.00~5.00m: 埋土 (bk層) 0.00~1.50m: 埋土・シルト混り砂 垂円~垂角礫からなる。基質は細~粗粒砂からなり不均質。 1.50~3.84m: 埋土・シルト混り砂 細砂~粗砂の不均質な砂。全体にシルトと径2~10mmの垂円~垂角礫の細礫を含む。礫種は花崗斑岩、アプライトを含む。																	
	-0.40	5.00		にぶい黄				3.84~4.85m: シルト混り粗粒砂 粗粒砂を主体とする。 4.85~5.00m: 埋土混りシルト質砂 白色人工物混入する。																	
			礫混り砂	灰黄				5.00~17.04m: 砂質土 (Bs層) 5.00~7.59m: 礫混り砂 5.00~5.95m: 細粒~粗粒砂で、全体に径2~5mmの細礫が混る。 5.30~5.35m: 細粒分に富む。 5.95~6.73m: 粗粒砂が主で、全体に暗い色調。僅かに有機物が混る。 6.73~7.59m: 粗粒砂主体。																	
	-2.23	7.59		黄灰				7.59~13.92m: 砂 7.59~8.63m: 粗粒砂主体。 8.36~9.40m: 中粒砂主体。																	
			砂	灰黄				9.40~10.54m: 上位側は細粒砂で、中央~下部側は中~粗粒砂が主。全体的には上方細粒化。																	
				灰				11.83~13.92m: 粗粒砂主体 全体にシルト~細礫の混る不均質な砂。有機物が見かけ90°で分布。																	
	-6.70	13.92		にぶい黄褐色				13.92~14.94m: 礫混り砂 細礫の混る粗粒砂が主で、シルトをわずかに混入。また有機物を含む。 14.32~14.40m: 径4~5mmの細礫を多く混入。 14.94~17.04m: 砂 粗粒砂が主。全体に細粒砂と細礫を含む。																	
	-7.42	14.94		灰																					
			砂	灰黄																					
	-8.91	17.04		灰																					
			礫混り砂					17.04~22.69m: 砂質土 (Bsm層) 17.04~18.73m: 礫混り砂 径2~4mmの石英細礫を含む細~中粒砂。上位と比べて礫率低く約10%。少量の有機物を含む。																	
	-10.10	18.73		礫質砂				18.73~19.05m: 礫質砂 細~中粒砂が主で、径2~5mmの細礫10~20%、径1~3mmの炭質物を混入。 19.05~22.69m: 有機物混り砂 細~中粒砂が主で、粗粒砂~細礫をわずかに混入。径2~10mm、最大50mmの炭化物が散在。																	
	-10.33	19.05		有機質土混り砂	黄灰			22.20~22.65m: 中~細粒砂主体。 2mm以下の片状もしくは繊維状の有機物が散在。																	
	-12.90	22.69		シルト混り砂/砂互層				22.69~26.19m: 砂質土主体 (Ca11層) 22.69~25.13m: シルト・礫混り砂、砂礫互層 シルト・礫混り砂は中粒砂が主で、径10~40mmの垂角~垂円礫を含む。単層厚は20~70cm。 砂礫は径10~50mmの垂角~垂円礫を40~60%含む。基質はシルト混り中粒砂。単層厚は20~40cm。地層境界に有機質砂が挟在。																	
				埋土																					
	-14.63	25.13		埋土				25.13~26.19m: 埋土混りシルト質砂 径2~5mmの石英、及び5~40mmの垂角~垂円礫を数~15%含む。																	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化質	記 事	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩 級 区 分	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 図		孔内水位 (m) / 測定月日	試験		原位置試験 (孔内水圧計)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)								
												(N 値)	(図)		(N 値)	(図)																			
70			[柱状図]	アプライト	灰白	IIIg	bg	β	62.00m: 傾斜55°の割れ目沿いに酸化。幅15~20mm。	3	CM'																								
									63.57~63.59m: 傾斜60°の割れ目沿いに岩質劣化し、周囲には幅3~5mmの酸化帯が分布。	6																									
									64.52~65.15m: 岩質が軟質化し、割れ目も多い。	4																									
									64.78m: 細礫混りシルト質砂挟在。傾斜25°、幅1~8mm。暗褐色。	5																									
									65.88~66.05m: 傾斜40~60°の割れ目沿いに細片化し、コアは軟質化。	9																									
									66.05~69.34m: 割れ目密集部が見られ、割れ目間隔5~10cmが主体。66.79~67.09m: 割れ目密集部。コアは岩片状をなす。	15																									
									69.34~70.05m: 上位に比べて硬質。69.77mまで割れ目沿いの褐色化が目立つ。	9																									
									70.94~71.21m: 変質劣化し浅黄色化。岩組織はほぼ残留。	11																									
									●71.21~71.24: 破砕帯 ▲71.21~71.24m: 礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。上端65°、下端70°、幅10mm。淡黄色。	8																									
									71.24~72.04m: 傾斜20~30°と50~60°の割れ目が交差し劣化。	7																									
									74.80m: 緑灰白色粘土。傾斜50°、幅1mm。	5																									
									75.60m: 緑灰白色粘土。傾斜50°、幅8mm。	3																									
									●77.48~78.10: 破砕帯 ▲77.48m: 粘土状破砕部(Hc-1)。75°、幅3mmの灰白色粘土。 ▲77.48~78.10m: 礫混り砂状破砕部(Hb)。上端75°、下端70°。78.05mに幅1~2mmの灰白色粘土を伴う。 79.46~79.65m: 粘土混り砂状。上端60°、下端65°。上端に幅10mmの灰白色粘土混り砂を伴う。	2																									
									●80.50~83.93m: 破砕帯(D-6) ▲80.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45°、幅6mmの褐色粘土 ▲80.50~81.93m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。 ▲81.93~83.35m: 粘土混り礫状破砕部(Hj)。上下位との境界は湾曲し不明瞭。 ▲83.35~83.78m: 礫混りシルト質砂状破砕部(Hb)。上端は湾曲。下端は60°。斑状に褐色化。 ▲83.78~83.80m: 粘土状破砕部(Hc-1)。傾斜60°、灰白色。 ▲83.80~83.87m: 礫質粘土状破砕部(Hb)。下位との境界は40°。 ▲83.87~83.93m: 角礫状破砕部(Hj)。下端境界は傾斜70°。	9																									
									86.64~86.72m: 微細な割れ目が密集。風化が顕著。	12																									
									87.59~89.82m: 割れ目間隔は10~20cmで割れ目は少なく硬質一部で非常に硬質。風化で褐色化。	16																									
									89.00~89.04m: 石英脈。傾斜60°、幅25mm。灰色。	8																									
									90.13~98.16m: 非常に硬質。ハンマー打撃で金属音。 90.13~93.40m: 割れ目間隔は10~25cmが主。 91.20m: 石英脈。傾斜60°、幅20mm。灰色。周囲の一部は風化褐色化。	10																									
									93.84~97.91m: 割れ目間隔は10~20cmが主で、所々マンガンの汚染が広がる。	17																									
									97.91~98.16m: コアは硬質であるが、割れ目沿いにマンガンの酸化汚染が広がる。	20																									
			98.16~98.50m: 間隔3cm未満の網目状に細かく割れ目が発達。角礫状化する。上端傾斜60°程度。 98.50m: 粘土状。傾斜60°、幅2~5mm。軟質、黄褐色。 98.50~98.59m: 砂礫状。岩組織は不明瞭で軟質。下端に傾斜50°で幅2~8mmの暗褐色酸化帯を伴う。	25																															
				19																															
				24																															
				28																															
				34																															
				44																															
				54																															
				58																															
				64																															
				74																															
				84																															
				94																															
				104																															
				114																															
				124																															
				134																															
				144																															
				154																															
				164																															
				174																															
				184																															
				194																															
				204																															
				214																															
				224																															
				234																															
				244																															
				254																															
				264																															
				274																															
				284																															
				294																															
				304																															
				314																															
				324																															
				334																															
				344																															
				354																															
				364																															
				374																															
				384																															
				394																															
				404																															
				414																															
				424																															
				434																															
				444																															

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	岩級区分	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	標準貫入試験 (N値~深度) 図		室内試験 (孔内水圧計)	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
														(N値)	(深度)									
100				アブラライト	橙	IVg	γ	2			98.70~99.14m: 傾斜30°と70°の割れ目が2~5cm間隔で発達。割れ目はやや多いが硬い。	CL'					8/6	102		120	0.2	泥水5	4	
					淡赤橙	IVg	γ				99.14~100.88m: 傾斜10~30°の低角割れ目が発達。多くが脆弱で割れ目沿いに細粒・細片化。	CL'					8/14	65		150	0.2	泥水10	10	
					淡黄	IVg					102.07m: 割れ目沿いに暗青灰色の変質鉱物が分布。傾斜50°。幅20mm。白雲母を伴う。	CL'												
					明褐灰	IVg					103.45~104.59m: 硬質で、棒状コアを呈する。岩芯に新鮮部が残存するが、斑状の褐色化を伴う。	CM'												
					明褐灰	IVg					104.59~105.27m: 微細な密着割れ目が発達し、上位に比べやや軟質。	CM'												
					明褐灰	IVg					105.27~108.05m: 大半の割れ目と割れ目沿いは褐色化。	CM'												
					灰白	IVg		2			107.25m: 灰白色粘土を挟在する。傾斜60°。幅2mm。	CL'												
					灰白	IVg					107.60m: 灰白色粘土。幅2mm。傾斜65°。下盤側に暗青灰色の変質鉱物帯が分布。幅10mm。	CL'												
					明褐灰	IVg		γ			108.05~110.36m: 傾斜60°割れ目が主で風化で褐色化。	CM'												
					明褐灰	IVg					108.76~109.04m: 割れ目沿いに淡緑青色の鉱物が分布。	CM'												
110					褐灰	IVg					110.64~110.93m: 割れ目が多くなり、僅かに細片化部を含むが硬質。	CM'												
					褐灰	IVg					110.93~111.68m: 割れ目が少なく硬質部が主。有色鉱物の周囲が風化で斑点状に褐色化。	CL'												
					明褐灰	IVg					111.68~112.39m: 縦方向の割れ目沿い幅10mm程度が風化・褐色化。マンガンも伴う。	CL'												
					明褐灰	IVg					113.15~113.46m, 114.18~115.43m: 割れ目が多い。割れ目は風化・褐色化。岩芯は斑状に褐色化。	CM'												
					灰白	IVg		3			115.43~116.16m: 固結した角礫状。上端55°, 下端70°。上端に2~3mmの灰白粘土を伴う。116.00m以浅はわずかに粘土を伴い、以深は粘土化が進む。	CL'												
					灰白	IVg		2			117.18~117.89m: 割れ目沿いに細粒・細片化。有色鉱物の周囲はすべて褐色化。	CL'												
					明赤灰	IVg		4			117.89~118.60m: 角礫混り砂質粘土状。上端70°, 下端80°。淡赤白色の軟質な熱水変質脈で、花崗斑岩の岩片が取り込まれる。	D'												
					灰白	IVg		3			119.92~120.11m: 傾斜60°割れ目が主で、割れ目沿いに細粒化、風化・褐色化。	CL'												
					明赤灰	IVg		2			121.53~122.12m: 傾斜60~70°の割れ目が発達し、割れ目沿いに細片~細粒化。	CL'												
					明赤灰	IVg					122.12~122.53m: 粘土混り角礫状。上端に70°。幅1~4mm。灰白色の砂混り粘土を伴う。	CL'												
					淡赤橙	IVg		3			122.52~122.74m: 固結砂礫状。変質し岩組織は概ね消滅。下端122.74mに70°。幅5mm褐色~灰白色粘土を伴う。	CL'												
					褐灰	IVg					122.97~123.70m: 傾斜40~60°の割れ目が3~10cm間隔で分布。	CL'												
					灰赤	IVg		2			123.51~150.00m: 花崗斑岩 (Gp)	CM'												
					灰赤	IVg					123.70~125.39m: 割れ目間隔10~20cmで割れ目少なく硬質。	CM'												
					明赤灰	IVg		3			126.59~127.52m: 一部を除き割れ目が多く軟質化。一部で変質により白色粘土細脈が分布。	CL'												
					明赤灰	IVg					127.52~128.68m: 傾斜30~60°の割れ目が5~10cm間隔で分布。	CL'												
					明赤灰	IVg		γ			128.68~129.08m: コアは短柱~柱状を呈し、岩芯は新鮮部。	CL'												
					明赤灰	IVg		2			130.18~131.32m: 一部の密集部を除き、割れ目はやや少ない。マンガン汚染を受ける。	CL'												
					明赤灰	IVg					131.32~131.85m: 変質による黄褐色鉱物が分布。	CL'												
					明赤灰	IVg					132.11m, 132.16m: 石英脈。傾斜40°。幅は各々3mm, 2~8mm。周縁はマンガンが濃集。	CL'												
					明赤灰	IVg					133.92~135.65m: 一部を除き割れ目は少ない。傾斜40~60°の割れ目が10~15cm間隔で分布。	CL'												

余白

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化質	記事	コア採取率 ← (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 試験		室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)
													(N 値)	(深度)										
									122.18~122.40m: 傾斜55~60割れ目沿い一部軟化。	4 [0]			0											
									123.39m: 割れ目が密集。下端に1m未満の暗緑色粘土や鏡肌が分布。	4 [0]							80							
									124.89~129.41m: 脱色・白色化した密着割れ目を含み、分離・細片化。	3 [0]							85							
									125.65m: 傾斜30°割れ目面周縁幅2~3cmが変質で暗緑色化。幅0.5mmの暗緑色粘土を挟在。割れ目多く、岩片状化。傾斜35°と60~70°割れ目が主。	9 [0]							30							
									129.79~131.00m: 傾斜35~45°と10~40°の割れ目が交錯し、径10~30mmの岩片状。	5 [0]							100							
									130.50~130.54m: 傾斜45°の割れ目沿いに暗緑色化する。幅1~3mmの石英脈を伴う。	7 [0]							85							
									131.00~132.00m: コア欠															
									132.00~133.00m: 割れ目と微細な割れ目が10~30mm間隔で密に分布。径10~30mmに岩片化。	3 [0]							105							
									133.57~134.00m: 長さ5mm程度で扁平に細礫化。硬質。	3 [0]							9/12							
									134.00~135.00m: コア欠															
									135.00~135.50m: 割れ目が多い。岩片状。硬質。	2 [0]							110							
									135.50~136.00m, 136.50~136.75m: コア欠															
									136.75~137.08m: 径10~20mmの岩片状。	3 [0]														
									137.67~137.73m: 傾斜45~50°の割れ目沿いに径10mm程度に角礫状化。暗緑色粘土が挟在。	4 [0]							130							
									138.21~138.42m: 暗緑色鉱物が付着。	5 [0]														
									138.42~140.04m: 割れ目が多い。硬質	4 [0]														
									140.04~140.33m: 割れ目が密集し、細片~細粒化。一部硬質部が残るが上下位に比べ軟質。	5 [0]														
									141.71~142.00m: 大半の割れ目沿いで細片~細粒化し軟質。	3 [0]							110							
									142.48~143.53m: 割れ目沿いが細片~細粒化。	5 [0]														
									143.53~145.46m: 割れ目はやや多いが、ほぼ未風化で新鮮	8 [0]							85							
									145.46~150.00m: 割れ目が多く、割れ目の沿い一部は細片化。	11 [11]														
									146.90m: 割れ目沿いの変質で周縁幅3cmが暗緑色化。	10 [0]														
									147.13m: 割れ目に暗緑色の熱水変質脈を伴い周縁は暗緑色を帯びる。下端側幅6~7cmが脱色。	9 [0]							90							
									149.80~149.85m: 傾斜40°、幅40mm。暗緑色。熱水変質脈を不規則に伴う。	9 [0]														

ダブルコアチューブ / ダイヤモンドビット

76 / 泥水

2.0

100

0.1

泥水 2

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27-B-1	観察日			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ 火山灰物 炭土化石 貝木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	0.30m		○		盛土	10YR 5/3	0.00 ~ 0.30m 細 ~ 中粒砂主体の盛土
	0.70m		○			K5.11 黄砂	0.30 ~ 0.70m 径1.0 ~ 3.0cmの礫を含む中粒砂主体の盛土
	0.90m		○				0.70 ~ 0.90m 径0.5 ~ 1.0cmの礫を含む中粒砂主体の盛土
1.00m			○				0.90 ~ 1.80m 径1.0 ~ 4.0cmの礫が主体の盛土
	1.80m		○				1.50 ~ 2.40m 径1.0 ~ 3.0cm礫を含む中粒砂主体の盛土
2.00m			○				2.40 ~ 3.00m 径1.0 ~ 4.0cmの礫が主体の盛土
	2.40m		○		* スライム 盛土	7.5YR 7/1	3.00 ~ 4.00m スライムにより判別不可
3.00m			○				
4.00m			○				

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27B-1	観察日				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ 灰物 山質 炭土 貝化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等	
	4.10					7.5YR 7/1 明褐灰	4.00 ~ 4.10 m スライムにより判別不可	
	4.30					10YR 4/3 黄橙	4.10 ~ 4.30 m 礫率60%の砂礫で、クサリ礫や半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~1.0mmの粗粒砂	礫種はGP 礫径は2~30mmの 垂角礫主体
	4.40					10YR 4/3 黄橙		
	4.65					7.5YR 6/2 灰褐	4.30 ~ 4.65 m 礫率20~30%で、半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~1.0mmの粗粒砂。4.40~4.50m付近に粘土状の粗粒部が認められる。鉄化層理が認められる。	礫種はGP 礫径は2~30mmの 垂角礫主体
5.00m	5.30						4.65 ~ 6.60 m 礫率60~80%。砂は径0.5~2mmの極粗粒砂~粗粒砂。4.65~5.85m付近は径8mm以上の巨礫が多く含まれる。5.40~5.60m付近で一部礫に明赤灰(2.5YR 7/1)や明褐灰(7.5YR 7/1)、極暗赤褐(2.5YR 2/3)が認められる。6.15~6.30m付近は径8mm以上の巨礫が著しく減少する。6.30~6.60m付近は径8mm以上の半クサリ礫の巨礫が多く含まれる。	礫種はGP 礫径は2~50mmの 垂角礫~垂角礫主体 一部最大径200mmの 巨礫あり
6.00m	6.60m							
	6.80m					7.5YR 7/1 明褐灰	6.60 ~ 6.80 m スライムのため判別不可	
7.00m	7.15m					7.5YR 7/2 明褐灰	6.80 ~ 7.15 m 礫率20~30%で半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~2.0mmの極粗粒~粗粒砂	礫種はGP 礫径は2~30mmの 垂角礫主体
	7.30					10YR 5/4 黄橙	7.15 ~ 7.30 有機物を多く含む腐食土壌	
	7.55m					10YR 5/4 黄橙	7.30 ~ 7.55 礫率20~30%で半クサリ礫を多く含む。砂は径0.5~2.0mmの極粗粒~粗粒砂	礫種はGP 礫径は2~30mmの 垂角礫主体
8.00m	8.00m						7.55 ~ 8.00 スライムのため判別不可	

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27B-1	観察日			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 山灰物 or 炭質土 灰質土 炭化物 化石 貝片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	8.60m		砕礫		セキト	10YR 6/2 ✓ 灰黄褐	8.00~8.60m スライムのため判別不可
9.00m	9.10		スライム		セキト	10YR 6/6 ✓ 明黄褐	8.60~9.50m ・石礫率 30~40% でクサリ石礫や半クサリ石礫を多く含む ・石は径 0.5~1.0mm の粗粒砂 ・8.75~8.85m 付近はスライムのため判別不可 ・9.25~9.35m 付近に黒色土(土壤)に挟まれた砂層が認められ、黒色土層砂層共に 5° 傾斜し、全体の幅は 10cm (黒色土 2cm, 砂 4cm, 下 2cm) ・黒色土層(上下)中に植物片が認められ
	9.50m		湖岸砂層 全体粗粒		セキト	10YR 6/1 ✓ 褐灰	9.50~10.00m スライムのため判別不可
10.00m	10.65m		GP- 砕礫		セキト	10YR 5/6 ✓ 黄褐	10.00~10.65m ・石礫率 70~80% で半クサリ石礫を一部含む ・石は径 0.5~2.0mm の極粗粒~粗粒砂 ・径 0.5~1cm の石英が多く含まれ
11.00m	11.05m		AP		セキト	10YR 6/2 ✓ 灰黄褐	10.65~11.05m スライムのため判別不可
	11.85m		GP		セキト	7.5YR 6/3 ✓ 黄褐	11.05~11.85m ・石礫率 50~60% でクサリ石礫~半クサリ石礫を含む ・石は 0.5~2.0mm の粗粒~粗粒砂 ・径 0.5~1cm の石英が多く含まれ
12.00m			GP		スライム	10YR 5/3 ✓ 灰黄褐	11.85~12.00m スライムのため判別不可

石礫種 GP
石礫径 2~30mm の
亜角礫~亜円石礫主体

石礫種 GP-一部 AP 含む
石礫径 2~10mm の亜角礫
~亜円石礫主体
一部最大径 200mm の
巨石礫あり

石礫種 GP
石礫径 2~100mm の
粗粒砂
亜角礫~亜円石礫主体

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		H27B-1				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界 スケッチ	マーカー 火山灰物 炭質土貝化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	12.10 _m		砂質スライム	砂質	10YR 5/6 10YR 5/6 10YR 5/6 5/6 明瞭	12.00~12.10 _m スライムのため判別不可
	12.49 _m					12.10~12.50 _m 礫率5%未満で、クワリ石礫を 含む。 (希少) 砂は0.5~1.0mmの粗粒砂
	13.00 _m			Gp		↓ 「基礎岩コア観察シート」参照
	14.00 _m					
	15.00 _m					
	16.00 _m					

礫種 Gp
礫径 2~30mm の
亜円礫主体

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名

孔番・深度

427 B-1 (12.49 ~ 15.00)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 10 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分						最大コア長	岩級区分	破碎度区分				
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質	ROD							
11																	
12	12.49																
13			Gp	10R 7/4 12in 黄橙	✓	✓	✓	✓	✓	3	0.1	1	D				
14											0.1	1					
15	14.69 14.84			10R 7/2 12in 黄橙	✓	✓	✓	✓	✓	3	0.1	1	CL				

(署名) 「田中 隆幸」 署名
↑

12.49 ~ 14.84 m : D
 1. 底に20%程度の粗粒砂岩が認められる。高粒砂岩の塊状構造が一部消滅している。多量に粘泥質の付着がある。
 2. 砂岩の粗粒部には粘泥質の付着がある。
 3. 割れ目は10~30°の鋭角で分布している。

14.84 ~ 15.00 m : C2

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (20 ~ 25)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 20 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	0.5												
	2.1				✓ C	✓ IV	✓ D			14	14	C2	
	0.5												
	2.2									0	7		
		22.19											
	0.5		Gp	7.5R 7/3 1.8R 橙	✓ C	✓ V	✓ D	✓ 3					
	2.3									14	14		
	0.5												
	2.4									0	3		
	0.5	24.44											
	6.5	24.71			✓ C	✓ IV	✓ E	✓ E				D	
	2.5				✓ C	✓ IV	✓ D	✓ 3				C2	

21.16 ~ 22.01 m 10]. 割れ目等に幅 10-30% 程度の硬質部あり。

22.01 ~ 22.19 m 硬質部あり。

23.05 ~ 23.20 m 20-30% 程度の割れ目あり。一部は硬質部同様に 10% 程度の細粒化。割れ目硬質部あり。

24.16 m 硬質部あり。硬質部あり。

24.44 ~ 24.71 m : D
風化・主付状を呈し
表層部より割れ目・隙間・消滅(20%)
24.71 ~ 26.62 m : C2

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 25 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
												10~30割れ目の主伴で、割れ目の一部は砂状化し、
05												
26			Gp'	2.5YR 7/3 灰褐色	✓ C	✓ IV	✓ D		0 9		C2	26m 以降は割れ目の砂状化が顕著
	26.62				X							26.62 ~ 27.60 m : D
	27.00				✓ C	✓ V	✓ E		0 6			27.00m 以降は割れ目の粗粒化は残存あり、 27.10m 以降は両者の粗粒化は顕著。砂状化で 採取されず。 (27.00 ~ 27.10m は採取時に流失)
27	27.10				X	X	X					
	27.47											
05	27.60		Gp'	2.5YR 7/3 灰褐色	✓ C	✓ IV	✓ D					27.60 ~ 28.00 m : C2
												一部は粘着度の低い割れ目の中層割れ目と含み細粒化し 易い粘着層を伴う。
28	28.00				X	X	X		0 9			28.00 ~ 28.19 m : 120P (D)
	28.19				X	X	X					28.19 ~ 28.61 m : C2
			Gp'	2.5YR 7/3 明褐色	✓ C	✓ V	✓ D					割れ目の一部は砂状化の部分も含む
05	28.61				X	X	X					28.61 ~ 28.68 m : 120P (D)
	28.68				X	X	X					28.68 ~ 28.84 m : C2
	28.84				✓ C	✓ V	✓ D					割れ目の砂状化あり
29			Gp'	2.5YR 7/2 明褐色	X	X	X		0 5			28.84 ~ 30.74 : D
												細粒の砂状化と呈現。 40~50%程度の細粒の砂状化と呈現。 粗粒の部分に分布し、砂状化と呈現。 30m以降は粗粒の砂状化と呈現。
05					✓ C	✓ V	✓ E					
30									0 3			

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05	30.00			2.5YR 7/2 明褐色	✓ C	✓ V	✓ E					D	<ul style="list-style-type: none"> 30.17 ~ 30.50 m: マンガン 磁単仲。 30.30 ~ 30.53 m: 石英多 磁単 (一部は変質に付石英と推定可)。
	30.54				X	X							
31	31.00			10YR 5/6 黄褐色	✓ C	✓ V	✓ E		✓ 0	✓ 4		C2	<ul style="list-style-type: none"> 30.74 ~ 32.48 m: C2 硬さ "D" 主体 "E" 部分的に硬さ "E" も含む。 上部側の 30.74 ~ 31.30 m 間は風化に付褐変化・磁単の軟化に伴う。 31.05 ~ 31.23 m: 熱水変質に付粘土変質、磁単連質の著し。前者は粘土質、後者は石英の脈状に晶洞状に晶出可。 手前、マンガン磁単と風化に伴う。全体に黄褐色の褐色色調を呈す。
	31.30			10YR 7/2 黄褐色	✓ C	✓ V	✓ E	δ	✓ 0	✓ 3			
05	31.70			2.5YR 7/2 明褐色	✓ C	✓ V	✓ E		✓ 0	✓ 3		C2	<ul style="list-style-type: none"> 31.70 ~ 32.20 m: 割明に付砂状化・磁単の砂状化を呈す。加えて 10 ~ 30% 程度の硬さ "D" の残存部も全体に上下に亘る。
	32.48				X	X							
05	32.70				X	X						D	<ul style="list-style-type: none"> 32.48 ~ 32.70 m: D 磁単成り・割明に付砂状化。
	32.70				X	X							
33	32.70								✓ 0	✓ 6		C2	<ul style="list-style-type: none"> 32.70 ~ 34.54 m: C2 割明に付厚さ 1 ~ 2% 程度の薄く砂状化部を呈す。一部は砂状化の進行する部分あり。磁単化は長石多。 割明に付 10 ~ 20% 主体、一部は 70 ~ 80% 割明に交差。 33.17 m: 15% 割明に付 75% 割明に付 (主位量 10% 右)。 33.40 m: 50% 割明に付厚さ 20% 砂状化。 33.75 m: 5% 割明に付厚さ 10% 砂状化。
	34.54												
05	34.54			10YR 5/6 黄褐色	✓ C	✓ V	✓ E		✓ 0	✓ 14	✓ 14	C2	<ul style="list-style-type: none"> 34.00 m 以下、磁単度の低い中層割明に付、10% 程度の砂状化を呈す。磁単割明が消滅している。 34.03 m: 40% 程度の石英脈、磁単に連続。
	34.59												
35	34.54			2.5YR 7/2 明褐色	✓ C	✓ V	✓ E		✓ 0	✓ 4		C2	<ul style="list-style-type: none"> 34.54 ~ 34.57 m: 破砕帯・主位断面 59 m (11°) 34.54 ~ 34.59 m: 4) 上部 10 ~ 40% 程度の砂状化、下部 11% 程度の磁単に連続。 95% 程度 Gp 磁単主体の磁単に付砂状化・磁単化の著し。 34.59 m: Hc-2
	34.59												

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (35 ~ 40)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 35 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	35.37				✓ c	X D	✓ D						上下端は11°と連続的に連続。φ1%石英粒は10%程度含む。 全調は圧変帯(10R/2)、厚さ3~4% 34.69~35.37m: c 細粒化し、中層部は0.5% 35.37~37.15m: D 細粒化し、硬さE、主成分は0.5%。岩組織中層部は0.5% 細粒化し、硬さE、主成分は0.5%。岩組織中層部は0.5% 部分的に硬質部は中層部に含む。 33~36m: T 子 (CT 2020) 36.09~36.26m, 36.63~36.62m に硬質部「c」の 硬質部が残留する。 36.70m 1x17mm φ10~30%硬質部「c」の薄片が 層状に残留する。 37.15~42.00m: cL 0~30°に傾斜して、割れ目「c」部で砂状化が認め らる。 37.40m 5°割れ目幅10~20%砂状化。微細な硬質部 が認められる。 38.56~38.74m (6)。φ20~30%硬質部「c」の薄片が残留する。 39.26~39.70m。硬質部「c」のφ30~50%の薄片が残留する。 39.90m 幅10~20、0°に注線色部（分布 （深部石層部と相違ない））
0.5					✓ c	X D	✓ D						
36									0	4			
0.5			Gp	7.54R 1/2 明揚灰	✓ c	✓ V	✓ E	δ	3			D	
37	37.15				X	X							
0.5													
38									0	7			
0.5					✓ c	✓ V	✓ D						
39									0	6			
0.5													
40									0	4			

調査名

孔番・深度

427 B-1 (40 ~ 45)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 40 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
05	40.39			2.5YR 7/2 暗褐色								40.32 ~ 40.79 m 割れ目と亀裂の存在に注意。硬さ D ₂ 程度の部分の一部分は残留し、至厚に2つの層状に呈し、2下コアへ移行して行く。
41				2.5YR 7/3 暗褐色								
05	42.00		Grp	10YR 7/3 灰褐色								42.00 ~ 42.41 m : D 一部の割れ目と亀裂の存在に注意。 42.24 ~ 42.28 m 上端 15% 下端 10% 割れ目と亀裂、厚さ 30% 程度、淡黄色粒化(変質層4) 1% の白色粘土状の点状に呈す。
05	42.41			2.5YR 7/2 暗褐色								
43	43.29			2.5YR 6/4 暗褐色								42.24 ~ 42.53 m : 破砕帯(主断面 42.31 m) 42.24 ~ 42.31 m : Hb 上端 10% 程度含石質粘土(5-10%)、高硬度、下端 35% の泥状に連続、2-3% の石英粒、0.5-1.0% (最大 2.5%) の Gp 成分、30% 程度の含石質粘土、色調は灰褐色(2.5Y 7/2)、厚さ 45-55%。 42.31 m : Hc-1 上下端 35% の泥状に連続、1% の石英粒、0.5% の Gp 成分、含石質粘土(0.5%)。色調は灰褐色(10YR 7/2)、厚さ 1-2%。 42.31 ~ 42.53 m : Hj 上端 35% の泥状に連続、下端 70% の泥状に連続、0.5% の石英粒、0.5% の Gp 成分、10% 程度の含石質粘土、色調は灰褐色(2.5Y 7/2) ~ 灰白色(2.5Y 8/2)、厚さ 10-20%。 42.53 ~ 42.63 m : 破砕帯(主断面 42.66 m) 42.53 ~ 42.66 m : Hj 上端 70% の泥状に連続、下端 65% の泥状に連続、0.5-1.0% の石英粒、0.5% の Gp 成分、10% 程度の含石質粘土、色調は灰褐色(2.5Y 7/2) ~ 灰白色(2.5Y 8/2)、厚さ 55%。 42.66 ~ 42.68 m : Hc-1 55% の上端連続的、下端は一部泥状に連続、1% の石英粒、少量
05	44.53			2.5YR 6/2 暗褐色								
05	44.66			2.5YR 6/2 暗褐色								44.66 ~ 44.70 m : Hc-1 55% の上端連続的、下端は一部泥状に連続、1% の石英粒、少量
05	44.70			2.5YR 7/2 暗褐色								
05	44.83			2.5YR 7/2 暗褐色								44.83 ~ 44.93 m : Hc-1 55% の上端連続的、下端は一部泥状に連続、1% の石英粒、少量
45				2.5YR 7/2 暗褐色								

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (45 ~ 50)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 y5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの硬さ	風化	変質	ROD			
	45.36			2.5YR 7/3								<p>(4%以下) 含む軟質粘土(砂質)。上下端は主に断面と同様に1mm~2mm、厚さ10%の脈状の2mm~3mmの鉄質部を伴う。</p> <p>色調は灰黄褐色(10YR 4/2)、厚さ4~5mm</p> <p>45.68~46.70m: Hb</p> <p>上端65°で波打り、下端50~70°で湾曲して連続。9~10%の石英粒、5~10%の粘土を伴った20~30%含む軟質粘土(砂質)を呈す。色調は明黄褐色(2.5Y 7/2)~灰褐色(5YR 6/1)、厚さ10~20mm</p> <p>46.70~46.93m: HJ</p> <p>上端50~70°、下端25~45°で湾曲して連続。下端は幅1%以下の灰黄褐色(10YR 4/2)軟質粘土。5~10%の粘土を伴った粘片間の脈状の網状の鉄質軟質粘土を呈す。全体は粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。色調は灰褐色(2.5YR 6/2)~淡黄色(2.5Y 6/3)、厚さ20~50mm。粘片間の鉄質部には黒褐色のマロン鉄染層を伴う。</p> <p>46.93~45.36m: D</p> <p>45.36~45.39m: 破砕帯(主断面45.39m)</p> <p>45.36~45.39m: HJ</p> <p>上端中・下端で60°で波打り、下端は連続的に連続。5%前後の粘土を伴った粘片間の部分の粘土。全体の粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。色調は明黄褐色(2.5YR 7/3)、厚さ5~10mm。</p> <p>45.39m: Hc-2</p> <p>上下端は65°で連続的に連続。一部は厚さ1%の2mmの石英粒を含む軟質粘土(砂質)。色調は灰褐色(2.5YR 4/2)、厚さ2mm</p> <p>45.39~46.12m: D</p> <p>1%前後の軟質粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。</p> <p>46.12~46.17m: 破砕帯(主断面46.17m)</p> <p>46.12~46.17m: HJ</p> <p>上端50~70°で波打り、下端35~70°で湾曲して連続。9~10%の粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。主断面と同様に粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。色調は淡黄色(2.5Y 6/3)、厚さ35mm</p> <p>46.17m: Hc-2</p> <p>上端50°で湾曲して連続。1~2%の石英粒、3%の粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土(砂質)。色調は黄褐色(10YR 5/2)、厚さ10mm</p> <p>46.17~47.40m: D</p> <p>47.40~47.51m: 破砕帯(主断面47.40m)</p> <p>47.40m: Hc-1</p> <p>上下端は50°で連続的に連続。1%の石英粒と5%の鉄質を含む軟質粘土(砂質)。色調は灰褐色(2.5YR 6/1)、厚さ1~2mm</p> <p>47.40~47.51m: Hb</p> <p>上端50°、下端50°で湾曲して連続。9~10%の石英粒と20~30%含む軟質粘土(砂質)を呈す。粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。色調は黄褐色(10YR 5/2)、厚さ70mm</p> <p>47.51~47.80m: D</p> <p>粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。</p> <p>47.80~48.80m: CL</p> <p>20~30%の粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。</p> <p>48.80~49.17m: D</p> <p>粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土を呈す。</p> <p>49.17~49.27m: 破砕帯(主断面49.20m)</p> <p>49.17~49.20m: Hb</p> <p>上端20°で波打り、下端30~36°で湾曲して連続。9~10%の石英粒、5~10%の粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土(砂質)を呈す。色調は灰黄褐色(2.5Y 7/2)~明黄褐色(10YR 7/6)、厚さ10~25mm。</p> <p>49.20~49.22m: Hc-2</p> <p>上端30~36°、下端35~60°で湾曲して連続。1~2%の石英粒と5~10%の粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土(砂質)を呈す。色調は黄褐色(10YR 5/2)、厚さ2~15mm</p> <p>49.22~49.27m: HJ</p> <p>上端35~60°で湾曲して連続。下端20°で波打り、連続。9~10%の石英粒、5~10%の粘土を伴った粘片間の脈状の鉄質軟質粘土(砂質)を呈す。色調は黄褐色(10YR 5/2)、厚さ5% (砂質)</p>
0.5	45.39			2.5YR 7/3								
46	45.04			2.5YR 7/3								
0.5	46.12			2.5YR 7/3								
0.5	46.17			2.5YR 7/3								
47	46.40		Gp	2.5YR 7/3								
0.5	46.51			2.5YR 7/3								
0.5	47.40			10YR 5/6								
0.5	47.51			10YR 5/6								
48	47.80			10YR 5/6								
0.5	48.80			10YR 5/6								
49	48.80			10YR 5/6								
0.5	49.17			2.5YR 7/3								
0.5	49.27			2.5YR 7/3								
0.5	49.40			2.5YR 7/3								
0.5	49.77			2.5YR 7/3								
50	49.77			2.5YR 7/3								

調査名

孔番・深度

H27 B- / (55 ~ 60)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 55 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	55.35								3			
	55.44											
56	56.08		Gp	2.5YR 7/3 15% 橙						6	7	
	56.66											
	56.84											
57	57.90									6	5	
	58.34											
	58.77											
59	59.28			2.5YR 5/4 15% 橙						6	6	
	59.48			2.5YR 7/3 15% 橙								
	59.82											
60	59.85											

・55.35m、55.0の2mで連続的に割れ目と硬さ。55.25m~56.66mは硬さ「C」で硬質とす。
 55.35割れ目49-部には同じで砂化している。粘り強さとある。

・56.43~56.67、56.40割れ目には硬さ「D」硬さ「D」を呈す。

56.66~56.84m : D
 56.66割れ目砂化程度。中10~20mmの硬さ「D」の片が2割程度に残存する。

56.84~58.77m : C
 56.84~57.90、硬さ「D」片全体の一部は硬さ「C」の残存する。
 57.30mは割れ目には同じで砂化が進む。

・57.25~57.90mは27fz-27g2時に6割程度砂化している。

・57.90~58.34m、硬さ「C」片全体27fzに幅2%石灰質の粘り(2分布)を割れ目には粘り強さマシな粘り強さがある。

・58.28割れ目全部同じで砂化。

・58.34~58.77m、硬さ「D」片全体。一部の割れ目には砂化が進む。割れ目3割減(10%)を呈す。

58.77~59.82m : D
 同化の部(軟化)粘り強さ砂化部全体。粘り強さ割れ目10割減(10%)、一部は粘り強さ粘り強さある。

・59.10m、20%厚さ5mmの粘り強さ粘り強さ粘り強さ。

・59.28~59.48mは割れ目は粘り強さ。

・59.60~59.85m(10)は3本の13mm平均割れ目5割程度分布、粘り強さ粘り強さ(厚0.5~1%)の粘り強さ。

・59.82~59.85m : H1
 ・59.82~59.85m : H1

276
57
5
50

調査名

孔番・深度

H27 B- / (60 ~ 65)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 60 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					FOD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					
05	60.574		Gp	25YR 7/3 に近い橙	✓	✓	✓					C ₂ ✓		
		X			X	δ	3							
61	60.99				C ₂	✓	✓					9	8	C ₄ ✓
	61.38				X	X								
05							✓	✓						C _M ✓
	62.82				X	X								
62							✓	✓				13	13	D ✓
	63.61				✓	✓								
05							✓	✓						C ₂ ✓
	64.00				X	X								
64					✓	✓						C _M ✓		
	64.33		X	X										
05					✓	✓						C _M ✓		
	64.67		X	X										
65					✓	✓						C _M ✓		
	64.97		X	X										

上端20~30cm部分が剥離して、下層部で連続的に運送。
 42~54cm石英粒が5~10% 粘土化岩片と互層状に粘土化
 した粘土状の部材と互層。色調は灰褐(25YR 7/3)、
 厚さ30mm

59.03m: Hc-1
 40~54cm部分と連続的に運送。41~54cm石英粒が約5%
 (5%以下) 粘土質砂岩(砂質)。色調は灰褐(25YR 7/3)
 及び6色(25YR 6/3)の粘土質砂岩。厚さ5~7mm

59.05~60.99m: C₂
 60.54m部分に割れ目により風化が進み、硬さ「E」を含む
 部分。
 62.54m部分に硬質の部材「C」が連続して存在。
 前者同様、割れ目により風化が進む。

60.99~61.38m: C₄
 硬質。割れ目により風化が進む。

61.38~62.82m: C_M
 上層部の61.38~61.42m部分と62.82m部分に、割れ目
 により風化が進む。砂質の部材と互層。砂質の部材は
 割れ目の境に分布している。

62.82~63.61m: C_M
 62.82~63.61m部分に硬質の部材「E」が連続して存在。
 厚さ2~10mm程度。砂質の部材と互層。砂質の部材は
 粘土化部と互層状に分布している。

63.61~64.00m: D
 割れ目により風化が進む。砂質の部材と互層。砂質の部材は
 厚さ約10mm程度。砂質の部材と互層。砂質の部材は
 一部に割れ目がある。

64.00~64.33m: C₂
 59.00~64.33m: C₂
 50~60°と70°割れ目。厚さ2cm。互層部では約10%程度
 に粘土質の部材が互層している。

64.33~64.67m: C_M
 割れ目により風化が進む。砂質の部材と互層。

調査名

孔番・深度

H27 B- / (65 ~ 70)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 65 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質	
05	65.52		Gp	25YR 7/3 R30M 橙	✓ C	✓ IV	✓ B	δ	2	10	10	CM ✓	65.22 ~ 65.30 m は 40° ~ 70° 割れ目 が 交差し、幅 10 ~ 20% と 同化 砂状部 の 粗大 (200μ) 粒 が 散在し、色 粘土 P 凝集 が 凝集 した、セメント 状、200μ。
66	66.07 66.12			25YR 6/4 R20M 橙	✓ C	✓ V	✓ C	δ	3	10	10	CL ✓	65.90 m、φ200μ と 大 型 角 石 凝 集 部 の 凝 集。 66.07 ~ 66.62 m : CL 同化 砂 中 割れ目 が 密着 度 の 低い 割れ目 が 多く、100μ の 粗粒 が 凝集 した。
05	66.62				✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	10	10	D ✓	66.62 ~ 67.14 m : D φ20 ~ 200μ の 凝集 部 と 同化 した 砂状部 が 多く、砂 凝集 が 多い。
67	67.74 67.27				✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	10	10	CL ✓	66.65 m 以下 は 角 石 凝集 が 割れ目 の 一部 に 凝集 した、粗粒 部 が 砂 状 部 と 同化 した 粘土 凝集 部 あり。
05	67.80				✓ C	✓ IV	✓ B	δ	2	10	10	CM ✓	67.14 ~ 67.27 m : CL 50° 割れ目 が 多く 凝集 した。 67.27 ~ 67.80 m : CM 割れ目 が 多く 凝集 した 砂状部 が 多い。
68	67.93 68.75			25YR 7/3 R30M 橙	✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	10	10	D ✓	67.40 ~ 67.47 m 100μ φ 5 ~ 10% に 砂 角 石 凝集 した。 67.80 ~ 67.93 m : D 50 ~ 60° 割れ目 が 多く 凝集 した、φ10% 凝集 部 が 多く 凝集 した。 67.93 ~ 68.15 m : CL 50° 割れ目 が 多く 凝集 した 砂状部 が 多い。
05	68.60				✓ C	✓ IV	✓ B	δ	2	10	10	CM ✓	68.15 ~ 68.60 m : CM 割れ目 が 凝集 部 の 分布 した。 68.43 ~ 68.69 m、φ5 ~ 20% 凝集 部 が 凝集 した 砂状部 が 凝集 した 凝集 部 あり。
69	69.05				✓ C	✓ V	✓ E	δ	3	12	12	D ✓	68.60 ~ 69.05 : D 凝集 部 が 凝集 した "E" の 凝集 部、角 石 凝集 が 割れ目 が 凝集 した 凝集 部 あり。 上 部 の 68.60 ~ 68.65 m は 砂状部 が 凝集 した、凝集 部 が 凝集 した 凝集 部 あり、凝集 部 が 凝集 した 凝集 部 あり。
05	69.56				✓ C	✓ V	✓ D	δ	3	12	12	CL ✓	69.05 ~ 69.56 m : CL 30 ~ 50° 割れ目 が 凝集 した、凝集 部 の 凝集 部 が 凝集 した 凝集 部 あり、凝集 部 が 凝集 した 凝集 部 あり。 69.07 m 厚 2 ~ 3% 凝集 部 が 凝集 した 凝集 部 あり。
70	69.70 69.73 70.00				✓ C	✓ V	✓ D	δ	3	12	12	CL ✓	69.46 ~ 69.70 m : D 少量 の 凝集 部 が 凝集 した。 69.70 ~ 69.73 m : 破砕 部 (主に 断面 69.70 m) 69.70 m : Hc-1 凝集 部 が 凝集 した 凝集 部 あり、凝集 部 が 凝集 した 凝集 部 あり、凝集 部 が 凝集 した 凝集 部 あり。

調査名

孔番・深度 H27 B-1 (70 ~ 75) 観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
				2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ				<p>69.70 ~ 69.73 m: HJ</p> <p>上端30°で、下端57°で、約40°斜めに連続。φ3~10% 硬土 E(粘土)、Dの薄片と、薄片間の一部は粘土化砂。</p> <p>全層に「粘土塊」の薄片状、呈す。色調は灰褐色(2.5Y 7/2) 厚さ1%。</p> <p>69.73 ~ 70.10 m: CL</p> <p>硬土「D」と硬土「C」の両方が交互に出現す。</p> <p>硬土「D」は割れ目に砂粒の挟持物に分布す。硬土「C」の両側は挟持物はほとんど分布せず。</p> <p>70.06 ~ 70.09 m: 45°斜めに風化砂粒状砂</p> <p>70.43 ~ 70.27 mの硬土「C」の砂、70.49 ~ 70.59 mの砂、φ5%の白濁化砂、長石が多。70.59 m以降は砂粒状砂。</p> <p>70.27 ~ 70.60 m: 45~60° 傾1%以下の砂粒状砂、白色粘土・粉状に分布す。一部は粘土化砂粒状砂。</p> <p>70.38 ~ 70.50 m: φ10%前後の大型の石英結晶の存在。薄片状硬土「C」と同様に硬質化(砂)。</p> <p>70.89 m: 0~10° 傾1% 砂粒状砂が密着して連続。</p> <p>72.10 ~ 72.74 m: 硬土「C」の両側は、割れ目挟持物はほとんど分布せず。長石の一部は白濁化砂。</p> <p>72.74 ~ 74.10 m: 硬土「C」の両側は、硬土「C」の薄片を含まず。</p> <p>割れ目に風化、砂粒状砂に砂粒状砂。</p> <p>72.35 ~ 72.38 m: 厚さ20~30%の緑色砂粒状砂呈す。全層は砂粒状砂。</p> <p>73.65 ~ 73.76 m: 30°と60°の割れ目交差部 φ10~50%の砂粒状砂に呈す。</p> <p>74.10 ~ 74.36 m: CM</p> <p>74.26 ~ 74.50 m: 破砕帯(主として断面φ40m)</p> <p>74.36 ~ 74.40 m: Hb</p> <p>上端27°で連続的に、下端30°で傾斜に連続。φ2~3%の石英粒、粘土化砂、φ5%の薄片と約10%の全層に砂粒状砂に呈す。色調は灰褐色(10Y 7/2)。厚さ0~30%。</p> <p>74.40 ~ 74.41 m: Hc-1</p> <p>30°で上端と傾斜して連続。φ1%の石英結晶の存在(5%以下)を含む軟弱粘土(砂)。色調は灰褐色(7.5YR 5/2) 厚さ7m/m。</p>
0.5	70.43			2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ				
71	70.27			2.5YR 7/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ	10	10		
0.5	72.10		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ D	✓ δ	0	9	CL	
0.5	72.74			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ				
73	72.35			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ	6	6		
0.5	74.10			10YR 7/2 灰褐色	✓ c	✓ VI	✓ E	✓ 4				
0.5	74.36			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E	✓ ε	0	8		
74	74.10											
0.5	74.36											
0.5	74.40											
0.5	74.41											
0.5	74.50											
75												

調査名

孔番・深度 H27 B-

(75 ~ 80)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 74 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05	75.57		2.5YR 6/2 灰褐色	✓ C	✓ V	✓ E	3				74.4 ~ 74.50 m : Hb 上端は30°の溝道に連続。下端は74.50 m以深の「粘り付く」 3YR 2/1の粘土状土層不明。 42~3%石英粒、粘土は2~4%、5~30%の片石に10~20%含む 軟質の「粘質粉砂状」呈示。色調は「粘り付く」(10YR 7/2)。厚 2.75m以上	
0	75.71 75.73		75.71 5.5YR 5/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E		30			74.50 ~ 75.57 m : D 74.50 ~ 75.00 m : 粘り付く土層。割れ目性状不明 75.00 ~ 75.57 m : 粘り付く土層(2~3%の粘土は滑り)。 75.57 ~ 76.00 m : 破砕帯 (3次元断面 2.5 ~ 3 m)	
26	75.93 76.00		25.93	✓ x	✓ x	✓ y		0	3		75.57 ~ 75.71 m : HJ 上端は不明瞭(30°)。下端は60°の溝道に連続。4.5~20%の 片石。粘り付く土層に「粘り付く」粘土状土層呈示。 色調は「粘り付く」(10YR 7/2)。厚2.90~1.20 m 75.71 ~ 75.93 m : Hc-2	
05	76.91		2.5YR 6/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E	E				75.93 ~ 75.73 m : Hc-2 60°。上端は不明瞭。下端は連続的に連続。4.5~3%石英 粒と3%の片石を5~10%含む軟質粘土(0.2%)。色調は 「粘り付く」(5YR 6/2)。厚2.10~1.20 m 75.73 ~ 75.93 m : Hb 上端は60°の溝道に連続。下端は60°の溝道に連続。4.5~4%石英 粒。4.5~10%の片石を5~10%含む軟質粘土(0.2%)。色調は 「粘り付く」(5YR 6/2)。厚2.55 m	
77	77.19			✓ c	✓ v	✓ c	δ	3	0	4	75.93 ~ 76.00 m : HJ 上端は不明瞭(30°)。下端は不明瞭(30°)に連続。 4.5~10%の片石と粘り付く土層呈示。「粘り付く」粘土質 土層呈示。色調は「粘り付く」(1.5YR 7/2)。厚2.60 m以上	
05	78.91			✓ e	✓ V	✓ E	δ				76.00 ~ 76.91 m : D 粘り付く土層と粘り付く土層呈示。粘り付く土層の砂粒 土層呈示。 76.59 ~ 76.70 m : 粘り付く土層。粘り付く土層 76.70 ~ 76.91 m : 粘り付く土層呈示。粘り付く土層の粘り付く土層 粘り付く土層呈示。	
78	78.43		2.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ D					76.91 ~ 77.19 m : Cc 粘り付く土層の粘り付く土層呈示。 77.19 ~ 78.00 m : D 粘り付く土層。粘り付く土層の一部は粘り付く土層。 77.63 ~ 77.80 m : 粘り付く土層。粘り付く土層の一部は粘り付く土層。 78.00 ~ 78.43 m : Cc 60~80°の割れ目土層。粘り付く土層に30°の溝道 割れ目の一部は厚2~3%の粘り付く土層	
05	78.72			✓ c	✓ V	✓ E	δ	3			78.43 ~ 78.72 m : D 粘り付く土層の粘り付く土層呈示。粘り付く土層の粘り付く土層呈示。 78.60 m : 粘り付く土層の粘り付く土層呈示。	
79	78.87		10YR 7/2 粘り付く土層	✓ d	✓ VI	✓ E					78.72 ~ 78.87 m : 破砕帯 (3次元断面 70.87 m)	
05	79.27		2.5YR 5/2 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ P	3				78.87 ~ 78.97 m : HJ 78.97 ~ 79.27 m : HJ 上端は30°の溝道に粘り付く土層に連続。下端は連続的に連続。 4.5%の粘り付く土層の一部は粘り付く土層の粘り付く土層 粘り付く土層の粘り付く土層の一部は粘り付く土層の粘り付く土層 粘り付く土層の粘り付く土層の一部は粘り付く土層の粘り付く土層 色調は「粘り付く」(10YR 7/2)。厚2.130~1.40 m 79.27 m : Hc-1 60°。上端は連続的に連続。4.5%の石英粒と粘り付く土層(5% 以下)を含む粘り付く土層(0.2%)。色調は「粘り付く」(7.5YR 6/2)。厚2.1.20 m	
05	79.69			✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			78.97 ~ 79.27 m : Cc 79.27 ~ 79.69 m : 粘り付く土層。粘り付く土層の粘り付く土層。 79.02 m : 5%の粘り付く土層の粘り付く土層の粘り付く土層 79.27 ~ 79.69 m : 粘り付く土層。 上端側の79.27 ~ 79.69 m : 粘り付く土層呈示。 79.69 ~ 79.95 m : 粘り付く土層の粘り付く土層の粘り付く土層。上端は	
80	79.93		2.5YR 5/2 粘り付く土層	✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			79.69 ~ 79.95 m : 粘り付く土層の粘り付く土層の粘り付く土層。上端は	

78
↑
69~76
↓
76.01

調査名

孔番・深度

H27B-1 (P0 ~ P5)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 P0 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	05	P0.66			✓ ○	✓ IV	✓ C	✓ Y				
	P1									✓ ○	✓ b	
	05	P1.07			✓ C	✓ V	✓ D	✓ δ				
	P2	P1.87			✓ C	✓ V	✓ C	✓ δ	✓ 3	✓ ○	✓ 5	
	05	P2.51 P2.62	Gp		✓ C	✓ V	✓ E	✓ E				
	P3	P2.94			✓ C	✓ V	✓ C	✓ δ		✓ ○	✓ b	
	05				✓ b	✓ IV	✓ B	✓ Y				✓ CM
	P4	P4.09			✓ X	✓ A	✓ Y	✓ 2	✓ 20	✓ 10		
	05				✓ b	✓ IV	✓ B	✓ Y				✓ CH
	P5	P4.92			✓ A	✓ V	✓ C	✓ Y	✓ 47	✓ 16		✓ C2

72.96 ~ P0.23 m 45°前後の割れ目が多い。
この割れ目は 粘結物と伴って厚さ0.5 ~ 3% 程度で
ある。

P0.30 ~ P0.40 m 割れ目に砂状化が進行。
P0.30 ~ P0.35 m はコアの割れ目4割程度に砂状化が進行した。

P0.66 ~ P1.07 m
硬さD中に硬さCの砂状化が進行した。断片砂に分布
P0前後の高角度割れ目が多い。

P1.07 ~ P1.55 割れ目の厚さ10 ~ 15% 程度で粘結物と伴って
塊状物中に割れ目周辺に0.5%以下の微細な黄鉄鉱を伴う。

P1.87 ~ P1.97 m 16は風化の砂状化が進行した。

P1.87 ~ P2.51 m
割れ目に砂状化が進行した。一部は粘結物も含まれる。

P2.51 ~ P2.62 m : D
RAC: 砂状化が進行。0.5 ~ 1cm Gp 断片の分布が
P2.62 ~ P2.94 m : C2
割れ目に砂状化が進行。一部は粘結物も含まれる。
P2.94 ~ P4.09 m : CM
粘結物中に密着層の低い割れ目と多く含まれる。
割れ目の粘結物は少ない。

P3.30 ~ P3.47 m 断面の一部が白濁している。

P4.09 ~ P4.07 m 上部45°下部65°割れ目2回あり、砂状化
と粘結物と伴って厚さ10%程度で厚さ3%程度の浸透性粘結物
と伴って分布する。

P4.09 ~ P4.92 m : CH
10 ~ 20°の高角度の「粘結物」を伴った密着層が厚さ10%程度
分布している。

P4.50 m 36°割れ目の厚さ2 ~ 3% 程度で分布する。

P4.92 ~ P4.92 m 割れ目周辺に一部は粘結物。粘結物の
分布は粘結物と伴って分布する。

P4.92 ~ P5.38 m : C2

7000
↑
3000

4000
↑
3000

調査名

孔番・深度

H273-1 (85 ~ 90)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 85 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
85	85.00		Gp	2.5YR 5/4 灰褐								<p>下層破砕帯の主な断面と同方向の 40~60° 割れ目や中層割れ目あり。 85.01' 幅 1.4m 以下 20° 石炭脈あり 50° 割れ目と斜交して連続。</p> <p>85.38 ~ 85.41 m 破砕帯 (主な断面 85.41 m) 85.38 ~ 85.41 m : H₂ 上層 45~50° 1.1m 厚の砂岩。これより近縁的。下層は 47° 連続的に連続。中 2~3m 石英粒と中 3~5m 粘土状の層。基質の砂岩 ~ 粘土状部 0.5m 厚の粘土。砂岩の層状に呈す。色調は 10YR 7/2 黄褐色。厚さ 20~25cm 85.41 m : H₂C-1 47° 上下端は連続的に連続。1.1m 石英粒と 1.1m 粘土 (5% 以下) 含む砂岩の粘土 (5%)。色調は 10YR 7/2。厚さ 2.7m。</p> <p>85.81 ~ 85.92 m : C_L 上層破砕帯の主な断面と同方向の 40~60° 割れ目あり。砂岩粘土と砂岩。 85.92 ~ 86.43 m : D 割れ目は砂岩の粘土。中 10~20cm 厚の C_L 層と少量の粘土状の砂岩に呈す。 86.43 ~ 86.86 m : C_M 経緯 20°。割れ目あり。塊状の砂岩と分布あり。 86.86 ~ 87.20 m : C_L 40~60° 割れ目と粘土に砂岩の連続。 砂岩の粘土 C_L 層が砂岩に連続して呈す。</p> <p>87.20 ~ 87.51 m : D 風化砂岩。砂岩の粘土と呈す。 幅 1~3cm 厚の粘土状の砂岩に分布あり。</p> <p>87.51 ~ 88.53 m : C_L 割れ目と風化砂岩の連続。 全体に 2~3cm の層の主体であり。 割れ目は風化砂岩の粘土。粘土脈 20~25cm 厚の粘土と呈す。</p> <p>88.51 ~ 88.69 m. 40~50° 割れ目 1~2cm (1) 層と平行に分布。粘土と砂岩の連続。割れ目中 10~15cm 石英脈あり。</p> <p>89.25 ~ 89.56 m. 2.5YR 5/4. 割れ目と砂岩と呈す。</p> <p>89.56 ~ 89.86 m 割れ目 10~15cm 厚の砂岩と呈す。(1:2:1)</p>	
	85.20												
	85.38												
	85.41												
86	85.92			10YR 7/4 黄褐色									
	86.43			2.5YR 5/4 灰褐									
	86.86												
	87.20			10YR 5/6 明黄褐									
87	87.51												
	88.53			2.5YR 5/4 灰褐									
	88.69												
	89.25												
89	89.56												
	89.86												
	89.86												
	89.86												
90	89.86												
	89.86												

89.86
89.86
↑

標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	<h3 style="text-align: center;">基盤岩コア観察カード</h3> <p style="text-align: center;">記事・破砕性状・詳細スケッチ等</p>
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05													
91				2.5YR 7/2 灰緑						0.7			91.16~91.25m、傾角65°割れ目の変異C、径10%程度の細部には碎屑あり。下部に20%の産生あり。
05			GpV		✓	✓	✓	δ	3			CLV	
92	92.00									0.6			92.32m、50°割れ目径φ0.5mm前後の雲母(セリサイト?)の産出あり。
05				2.5YR 7/2 明緑灰									
93										0.4			
05	93.53				X	X							93.53~94.02m: D 割れ目径φ0.5mm前後の砂状の拡大(一部は砂粒状)を呈す。
94	94.00 94.07	65°			X	X				0.5			94.00~95.05m: CL 94.07~94.08m: 上下端65°の貫入割れ目あり。上下端は割れ目(石炭層や変質粘土層等)あり。貫入面(65°)に60°傾角の連立割れ目や連立割れ目(一部は流理構造(65~60°)あり)。連立と連下のGpに磁石の変質は認められず。
05			10GY 4/1 暗緑灰		✓	✓	✓	δ				CLV	
95	94.80	65°	Gp	2.5YR 7/2 明緑灰						0.6			

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (95 ~ 100)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
05	95.22			2.5YR 7/2 明揚灰	✓	✓	✓	0	3		C2✓	<p>95.22 ~ 95.25m 割れ目に砂粒あり、スカルン付着。</p> <p>95.30 ~ 95.45m 粘土質</p>	
	95.85				X					0	B	<p>95.85 ~ 96.58m CM</p> <p>硬質の粘土質、密着度の低い割れ目あり。一部で細粒化あり。</p>	
96	96.10					✓	✓				CM✓	<p>96.00 ~ 96.10m 割れ目に砂粒あり、圧縮時粘土質あり。</p>	
05	96.58		Gp	2.5YR 5/2 灰揚	X							<p>96.58 ~ 97.57m C2</p> <p>一部に硬質の粘土質あり。</p> <p>φ 2-3mm 粘土質の砂粒(粘土質?)の晶出一点あり。</p>	
97					✓	✓			10	10	C2✓	<p>97.00 ~ 97.12m 割れ目に砂粒あり、全体に粘土質あり。</p>	
05	97.57			2.5YR 7/3 灰揚	X	X						<p>97.57 ~ 97.85m D</p> <p>硬質の粘土質、粘土質の全体に粘土質あり。</p> <p>粘土質の97.85mに40-45mm程度の粘土質の砂粒あり。</p>	
	97.85				X	✓	✓				D✓		
98	97.88			2.5YR 5/2 灰揚	X					0	B	<p>97.88 ~ 100.51m CM</p> <p>硬質の粘土質、変質が弱く粘土質の密着度の低い割れ目や粘土質の割れ目あり。10cm以上粘土質の砂粒あり。</p> <p>割れ目粘土質の粘土質の粘土質あり。</p> <p style="text-align: center;">粘</p>	
05					✓	✓					CM✓		
99										20	13		<p>99.03m 35割れ目に微細な粘土質の晶出(2-3)。</p>
05	99.57			2.5YR 6/1 灰揚									
100										12	12		

100.51m

100.51m

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-1 (100 ~ 105)										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5	100.51 100.56			2.5YR 6/1 褐鉄	✓ c	✓ IV	✓ B	✓ Y-2	✓ 2		CM✓	100.00 ~ 100.51 m 中層割れ目・密着度の低い割れ目が多く細粒化し易い。
0.5	100.72				X	✓ c	✓ B	✓ f			Cc✓	100.51 ~ 100.72 m : CL 風化部・一部割れ目には砂状化し、マシオン結集も受け。
0.5	100.72								✓ 0	✓ 6		100.72 ~ 102.35 m : CM 割れ目の性状・粗粒物は殆ど認められず。一部で中層割れ目・密着度の低い割れ目・中層・下部の割れ目で細粒化し易い。
0.5	101.57 101.58 102.00 102.05		Gp✓	2.5YR 6/2 灰鉄	✓ b	✓ IV	✓ B				CM✓	101.57 ~ 101.58 m と 102.00 ~ 102.05 m 間は割れ目・中層・中層に平行に折れ目・粘土・粘土・粘土部は分布する。 全体は 2~3% の暗緑色鉱物 (緑泥石?) の点状分布。
0.5	102.35				X	X	Y	2	✓ 0	✓ 5		102.05 ~ 102.35 m 間は割れ目・中層・中層に平行に折れ目・粘土・粘土・粘土部は分布する。 全体は 2~3% の暗緑色鉱物 (緑泥石?) の点状分布。
0.5	102.35								✓ 2	✓ 15		102.35 ~ 103.40 m : CH 上下に比し割れ目・中層・中層に平行に折れ目・粘土・粘土・粘土部は分布する。全体は 2~3% の暗緑色鉱物 (緑泥石?) の点状分布。
0.5	103.42				✓ b	✓ III	✓ B				CH✓	103.42 ~ 103.54 m 間は割れ目・中層・中層に平行に折れ目・粘土・粘土・粘土部は分布する。
0.5	104.00								✓ 3	✓ 14		
0.5	105.00								✓ 35	✓ 14		

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (105 ~ 110)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 0.5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05												
106										23	13	
			Gp	254R 灰褐	✓ b	✓ III	✓ B	✓ γ	✓ 2			CH
05												
107										26	14	
	107.40				X	X						
05												
	107.83				✓ b	✓ IV	✓ B					CM
108										22	11	
	108.24				✓ c	✓ V	✓ C	✓ δ	✓ 3			C2
05												
	108.98											
109										0	9	
					✓ b	✓ IV	✓ B	✓ γ	✓ 2			CM
05												
110	109.98											
				254R 褐灰	X	X				0	9	

・105.23 ~ 105.25m: 65° 割れ目幅 1 ~ 3% の 緑色粘土層
122cm. 破碎は9割程度あり。

・106.35m: 60° 割れ目幅 5% の 細粒化砂。
粘土は9割程度あり。

107.40 ~ 107.83m: CM
107.52 ~ 107.55m: 幅 40° 55° 割れ目に 固粒 粗粒化砂
砂化砂。粘土は9割程度あり。

107.83 ~ 108.24m: C2
片化砂 割れ目幅に 軟化砂 存在。
108.20m: 50° 割れ目幅の 割れ目は 200μm 以下程度あり

108.24 ~ 109.98m: CM
硬質砂の 中層割れ目中 老層度の 低割れ目幅
10° ~ 15° 程度あり 細粒化砂。
割れ目には 塊状物 10 粒程度 分布 (砂)。

・109.00 ~ 109.14m と 109.41 ~ 109.60m 167cm 割れ目 5°
老層。長 10 ~ 30% 程度の 硬質砂層 (砂)。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	0.5	110.43	Gp	2.5YR 5/1 褐灰	b	III	B					CH	107.98~110.43m: CH 4層割れ目や亀裂の低い割れ目を含む。棒状のPの存在
		110.68 110.74			c	V	C					CL	110.43~110.74m: CL 岩片は硬く、割れ目の一部で砂状化する。
	1.1	110.74	Gp	HR 6/2 灰褐						33	20		110.74~110.93m: CM 30~60°の傾斜に解理面を有する割れ目と、 割れ目交差部の一部で変質化が認められ、 110.94m以下は、 堅硬で、割れ目状の物は殆ど分布しない。
		111.13		2.5GY 4/1 暗緑灰	b	IV	B						111.13~111.37m: 暗緑色化、111.37~111.54m: 1/2の褐色を呈する割れ目方向に傾斜して50~60°を示す節理は緑泥石化の進んだ傾向、後者は白色石多量に分布する傾向がある。
	0.5	111.37 111.54		5YR 6/2 灰褐									両色調境界部でよく露出。破砕中変質は伴わない。
		111.73		2.5GY 4/1 暗緑灰	b	IV	B						
	1.2	111.73	Gp	5YR 6/2 灰褐						20	10		112.04m: 此層は「2」主体で、一部の割れ目は片状に砂状化する。粘土化が認められ、分布する主体は、 2の境界に沿って微細に露出、割れ目面には黄黒褐色化する。
		112.04			k	A							
	0.5	112.04	Gp	5YR 6/2 灰褐	b	IV	C						112.04m: 此層は「2」主体で、一部の割れ目は片状に砂状化する。粘土化が認められ、分布する主体は、 2の境界に沿って微細に露出、割れ目面には黄黒褐色化する。
		112.83											
	1.3	112.83	Gp	2.5YR 7/2 明褐灰						0	7		112.83~113.51m: CL 新明色に砂状化が進む傾向あり。 113.03~113.31m: 消滅(2)。消滅100%の区間を分布する。 113.10~113.13m: 0.74mの割れ目に沿って、塊状化する。
		113.31			c	V	D					CL	
	0.5	113.31	Gp	2.5YR 6/2 灰褐	d	VI	E			4			113.51~113.60m: HJ 56°の傾斜に解理面を有する。途中は厚さ1/4の粘土化層が1m程度連続して分布。粘土化が認められ、分布する主体は、 2の境界に沿って微細に露出、割れ目面には黄黒褐色化する。
		113.51 113.55 113.60			d	VI	E						113.51~113.60m: HJ 56°の傾斜に解理面を有する。途中は厚さ1/4の粘土化層が1m程度連続して分布。粘土化が認められ、分布する主体は、 2の境界に沿って微細に露出、割れ目面には黄黒褐色化する。
	1.4	113.60	Gp	2.5YR 6/2 灰褐	d	VI	E			4			113.60~114.00m: D 高角に傾斜した割れ目の存在。傾斜30%以下に露出。割れ目の一部は砂状化にマニッシュな変質あり。
		114.00											
	0.5	114.00	Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	c	V	C						114.00~114.75m: CL 高角に傾斜した割れ目の存在。傾斜30%以下に露出。割れ目の一部は砂状化にマニッシュな変質あり。
		114.75											
	1.5	114.75	Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	d	VI	E			0	5		114.75~115.52m: D 風化が強く、大規模な砂状化(砂砕性)を呈す。
		115.52											

調査名

孔番・深度

427 B-1 (120 ~ 125)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
											119.30~120.78 m: CM 一部で割れ目の低い割れ目の中層割れ目が多く、ハズレの割れ目で合流・細粒化が認められる。割れ目の面は新鮮で平風化。
	120.78				X	X			25	25	120.78 ~ 122.00 m: CH 130~140"間で中層割れ目1割10%の間隔で分布。
	122.00		Gp	25R 1/2 平風化	X	X	B	2	34	24	122.00 ~ 125.06 m: CM 一部で割れ目の低い割れ目の中層割れ目が多い。割れ目の面は新鮮で平風化。
	123.00				b	IV	B		0	5	123.38 m 割れ目定位置で幅2~3% 平風化が認められる。同化部大部分が粘土化部は付着する。
	124.16			25R 1/2 平風化					10	8	124.54 m 50割れ目の厚さ1% 平風化は緑色粘土が平風化に付着する
	125.06								0	6	

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (125 ~ /30)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	125.00									CMV	
	125.28				b ₁	IV	B			CLV	
126	127.16		GP	25YR 6/1 陽灰	b ₁	IV	B	β	2	0	8
127	127.68				b ₁	IV	B			10	10
128	128.08			25YR 5/3 15%陽灰	b ₁	IV	B	δ	2	0	9
128	128.55				b ₁	IV	B	γ	2		
128	128.64			10YR 6/2 灰黄濁	b ₁	IV	B	δ	2		
129	129.00				b ₁	IV	B	δ	2	0	8
129	129.60			25YR 6/1 陽灰	b ₁	IV	B	γ	2		
130	129.91				b ₁	IV	B			11	11
	129.91				b ₁	IV	B				

125.06 ~ 125.28 m : CL
割れ目はほぼ3分岐・細粒化(200)。この粘土は125.28 m。

125.28 ~ 127.68 m : CM
開口割れ目と平行方向の割れ目も密着度の低い割れ目と含まれる。127.16 m付近の一部は高品位・細粒化可。
この一部(下記127.16 ~ 127.25 m 167)は200μm以下の粘土は100%新鮮・細粒化。

127.16 ~ 127.25 m 167は100%両液で角砕化(200)。下部の450割れ目面は100%の角砕化で角砕化可。

127.68 ~ 128.08 m : CL
厚さ5~10%程度の片状の片状で塊状物は下部の128.05 ~ 128.08 mの角砕化(200)の硬質片状(含む碎質砂)は100%以外、この粘土は100%。

128.08 ~ 128.64 m : CM
割れ目面は薄く浸透化。区上は角砕化可。この粘土は塊状物は認められる。

128.64 ~ 128.88 m : CL
100%両液は細く角砕化(200)。区上は角砕化可。この粘土は100%。

128.88 ~ 129.91 m : CM
60~70°の角砕化。30~40°の低角度割れ目の交差部には10%両液は片状~角砕化可。この粘土は100%。

129.91 ~ 131.93 m : CL

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (130 ~ 135)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 130 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	05												
131			Gp	25YR 6/1 褐灰	6	III	B			26	16	CHV	
	05												
132	131.93				X	X	β	2	53	28			
	05												
133					6	IV	B1			11	11	(MV)	
	05												
134										8	7		
	05												
135										9	9		

一部のコアは 割れ目・表割れ目と含む。ハンマーの打撃 表面、割れ目・細片状 (ハンマーの打撃)。

131.40 ~ 131.52 m 間は 40 ~ 30% の角砕化 (200 μ) の 粗粒状 (200 μ) 以上の粗粒 (粗粒の多い)。

131.93 ~ 132.07 : CM
 131.93 ~ 132.07 m 間は 40 ~ 30% の角砕化 (200 μ) の 粗粒状 (200 μ) 以上の粗粒 (粗粒の多い)。
 割れ目の一部は 風化・浸食・浸食部 : 132.07 ~ 132.08 m 間に 浸食部 (b) 割れ目 3 箇所。

132.07 ~ 132.24 m 間は 10 ~ 20% の角砕化 (200 μ) の 粗粒状 (200 μ) 以上の粗粒 (粗粒の多い)。
 浸食部 (b) 割れ目 3 箇所。浸食部 (b) 割れ目 3 箇所。

133.40 ~ 134.00 m 間は 40 ~ 30% の角砕化 (200 μ) の 粗粒状 (200 μ) 以上の粗粒 (粗粒の多い)。
 (粗粒の多い) 粗粒 (粗粒の多い)。

133.82 m. 60 割れ目 (粗粒 20% の 3 ~ 5 μ の 細片状 (200 μ) の 粗粒 (粗粒の多い) 粗粒 (粗粒の多い)。

調査名

孔番・深度 H27 B-1 (135~140) 観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分					
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質	ROD								
	0.5																	
136																		
	0.5																	
137			Gp	2.5YR 6/1 褐灰														
	0.5																	
138	138.07																	
	0.5																	
	138.44																	
	0.5																	
	138.80																	
139	139.18																	
	0.5																	
	139.82																	
	139.88																	
	139.95																	
140																		

135.80~136.00m 中層割目(10~15%)、 ρ 10~30%
軽度細砕化(20%)

137.00~138.07m 中層割目(5%)、 ρ 高<
137.00m 層厚(10%)分離し、 ρ 10%割目(20%)
多し
 ρ 2~3% 暗緑色の緑泥石の斑点状に点在

138.07~138.44m: C1
 ρ 高< 低の中層割目(5%)、 ρ 全体に2層C1で
 ρ 高< 低の中層割目(5%)、 ρ 全体に2層C1で
 ρ 2~3% 暗緑色の緑泥石の斑点状に点在

138.44~138.80m: C1
堅硬塊状、中層割目(5%)、 ρ 高< 低の中層割目(5%)
分離し

138.80~139.18m: C2
139.18m 以降は塊状C1、 ρ 高< 低の中層割目(5%)
全体に中層割目(5%)、 ρ 高< 低の中層割目(5%)

138.95: 60~70°傾斜、10%で湾曲(2層C1)
 ρ 高< 低の中層割目(5%)、 ρ 全体に2層C1で

138.95~139.08m 30~40°傾斜、 ρ 高< 低の中層割目(5%)
分離し、 ρ 高< 低の中層割目(5%)

139.18m 以降は塊状C1、 ρ 高< 低の中層割目(5%)
139.31m 2層割目(10~15%)、 ρ 20% 軽度細砕化

139.82~139.88m 破砕帯(主として断面139.82m)
139.88m: Hc-1

H27
138
5
141

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-1 (140 ~ 144)										
標尺 140 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
140	140.03											52°で直線的に連続。肉目砂は石英粒、岩片が含まれる 平均粘土(0.7%)。色調は暗緑色(59%)~灰褐色(25.1%) 厚2.05~1.4mm 139.82~139.88m: HJ 52°以下端部直線的に連続。中3~5%の細かく 岩片化。岩片10%の粗粒化(粗粒状主体)。岩片の多くは 主として面方向に配列した。全体的に「砂混り岩片状」 に呈す。色調は暗緑色(49%)。厚2.90mm 139.88~139.95m: D 主に砂岩と岩片状の割れ目が多い。岩級は暗緑色 139.95~140.03m: C 「C」岩片主体。 140.03~141.27m: CM 暗緑色の割れ目が多い。コア長10cm以下の短棒状コア主体 割れ目状の分布は少ない。 141.27~142.31m: C4 中層割れ目密度が低く、割れ目が多い。 141.55m以下は割れ目から原因の砂岩 暗緑色 粘土状の存在物も多量に存在する。 141.55m以下は割れ目物の割れ目が多い。 142.31~144.00m: CM 岩片状の砂岩(砂岩質)。 143.36m以下は割れ目から暗緑色を占める 粘土の砂岩質と石英質の粘土は割れ目が多い 143.93m以下は割れ目周辺の暗緑色帯あり。 (2)想)
05	141.27											
141	141.55		Gp	25YR 1/2 明褐色	✓ c	✓ v	✓ D					
05	142.31											
142	142.31											
05	143.36											
143	143.36											
05	144.00											
144	144.00											
05												

138~
141
↑
27分

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27B-2	観察日		
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
0			マーカー 火山灰物 土質化石 貝片 木片			
0.70m				コンクリート	10YR 4/2 灰黄	
1.00m				盛土		粗粒 1.00 ~ 2.00m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は良し
2.00m				盛土		粗粒 2.00 ~ 3.40m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は普通 ・10 ~ 50mmの礫を複数含む
3.00m				盛土		粗粒 3.40 ~ 4.00m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は良し
3.40						
4.00m						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27 B-2					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 灰物 山質 化石 火炭 土貝 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
4.00	4.10				盛土	10YR 6/4 10YR 6/4 10YR 6/4	
5.00					盛土		
6.00					盛土		
7.00	7.00			板の破片		7.5YR 5/4 7.5YR 5/4	
8.00							

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 ---- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日		
		H27 B-2				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界 スケッチ	マーカ 灰物 山質 炭土 貝化石 土片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
8.00		●	○	ス	7.5YR 5/4	
	8.50				10.5YR 6/1 灰褐	
9.00	9.00	○	○	チ	7.5YR 4/1 褐灰	
					10YR 7/6 明黄褐	
10.00		○	○	イ	10YR 6/6 明黄褐	
	10.50				10YR 9/8 明黄褐	
11.00	11.00	○	○	盛土		
	11.50					
12.00	12.00					

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等